

東京・渋谷から日本の文化・こころを国際発信する
ミュージアム連携事業

REPORT
報告書



目 次

ごあいさつ

國學院大學博物館地域共働連携事業実行委員会 委員長

赤井 益久 (國學院大學学長) …… P 2

本報告書について

國學院大學博物館長 笹生 衛 …… P 3

國學院大學博物館について …… P 4

東京・渋谷から日本の文化・こころを国際発信する

ミュージアム連携事業について …… P 5

実施事業報告

April …… P 7

May …… P11

June …… P15

July …… P19

August …… P25

September …… P29

October …… P35

November …… P41

December …… P49

January …… P55

February …… P61

昨年度未掲載事業

January …… P65

February …… P69

March …… P75

平成28年度 実施事業一覧 …… P79

ごあいさつ

國學院大學博物館地域共働連携事業実行委員会 委員長

國學院大學学長 赤井 益久

大学は、研究と教育の拠点であり、それぞれの建学の精神により運営されている。研究と教育を支えるためには、学術の整理分析が不可欠であり、それを集積し、将来にわたって継承しなければならない。知の集積、学の宝庫と呼ばれる所以もそこにある。また、将来にわたってこれを伝承し、財産として受け継ぐには、博物館や図書館が大いに役割を果たすことになる。それらは、整理分析といった第一次の手を経て、公開公表される。その意味で、学術研究の最も先端かつ身近な面であるといつてよいであろう。

國學院大學は、その母体である皇典講究所が設立された明治15(1882)年より一貫して日本文化の究明をその使命として掲げてきた。とくに神道および考古学においては神道資料室と考古学陳列室とを設置し、新しい研究の成果を活かすべく公表と展示に努めてきた。渋谷キャンパスの再開発に伴い、平成25年に新たに「國學院大學博物館」が誕生した。建学以来135年の歴史にあつて、絶えることなく学術資料の収集と分析整理がなされ、教育に還元するとともに、広く一般にも公開展示してきたことに変わりはない。

國學院大學の学問の実際を知っていただくには、まず博物館を見ていただくに如くはない。先達により蒐集されてきた版本や写本、絵巻物を含む書籍、古文書、宗教祭祀に関わる装束や資料、考古学的な発掘および出土資料、校史学術資産など多岐に及ぶ。そのそれぞれが希少であるだけでなく、本学の学問の真髄を伝えるものである。したがって、博物館は図書館と並んで「大学の顔」といってよい。大学は、学問を探求する機関であると同時に、人類の叡智の蓄積、伝統文化継承の拠点としての役割を増しており、日本人の基層を形成する文化的営為が実際に経験し、体験する機会に乏しくなっている現状を考えると、その役割は増しこそすれ、減じることはないと思われる。

本年度、文化庁の「地域の核となる美術館・歴史博物館支援事業」に採択された「東京・渋谷から日本の文化・こころを国際発信するミュージアム連携事業」は、過去二年間、渋谷区、山種美術館、東洋文庫と連携し展開してきた事業を継承し、さらに日仏会館 フランス国立日本研究センター、国立オリンピック記念青少年総合センターと連携の輪を広げたもので、本報告書にあるようにじつに豊富で多彩な事業によって推進された。企画展示、シンポジウム、体験教室、博物館・美術館の多言語対応、デジタルデータの蓄積などを通して、日本文化を究明すると同時に内外に発信していく重要性を改めて確信した。

今回の種々の事業を通して、大学をはじめとする参画諸機関が相互に連携することによって、より大きな貢献を地域社会にもたらすことができ、相乗的な効果を上げることができたと確信している。今後ともより深い連携と広い輪を目指して努力を重ねていきたいと考えている。よりいっそうのご指導とご支援をお願いする次第である。

本報告書について

國學院大學博物館長 笹生 衛

海外の人々が日本の文化や宗教について理解を深める上で、国内の博物館が行う展示や普及活動の課題は多い。これを受けて、昨年度の国際シンポジウムでは、海外の博物館で日本文化の研究を実践されている方々と議論を行った。そのなかで、海外の博物館・美術館における日本に関する展示の現況を知る必要性が課題として指摘された。

本年度は、この課題を踏まえ、文化庁「地域の核となる美術館・歴史博物館支援事業」に採択された「東京・渋谷から日本の文化・こころを国際発信するミュージアム連携事業」の一環として、海外の博物館調査を実施した。

調査先のひとつ、イギリスの博物館で印象的だったのは、日本文化の展示では美術・工芸の側面に重点を置いていた点である。これは日本の侍文化や浮世絵に対する根強い人気と関心の高さを反映していると言つてよいだろう。しかし、日本の歴史・文化のなかで重要な役割を果たしてきた宗教、特に日本文化の源泉といえる神祇祭祀・神道に関する資料は極めて限定的であった。この点だけを見ても、海外の一般の人々にとって神道は予想以上に遠い存在であることがうかがえよう。今後、日本文化を海外に発信し国際的な相互理解を深める上で、研究者だけではなく一般の人々が神道について理解を深めることは不可欠である。そのためにも、欧米を含めた海外の宗教・文化と神道との共通点・相違点をさぐり、地球規模の普遍性から神道を考える「神道の国際標準化」の必要性を痛感した。

本事業は、一貫して日本及び日本人の精神性に関するもので、なかには海外の方々を対象にした事業も含んでいる。今後もこのような事業を継続し、日本文化の国際理解、さらには相互理解の一助となる成果を、具体的に目に見える形にしたいと考えている。

本報告書は、SNSを活用してきた当館の取り組みに基づき、日頃からFacebookで発信している記事を転用する形で、当館を中心に行ってきた事業の数々を紹介したものである。

当館は、日本文化の講究に必要な文化財を収集・保存し、学術的な研究成果を一般に公開するとともに、広く学内外の研究教育活動に資することを目的として設置された大学博物館である。その淵源は、昭和3(1928)年創設の考古学陳列室(後の考古学資料室・考古学資料館)と、昭和38(1963)年創設の神道学資料室(後の神道資料展示室・神道資料館)にあり、両組織を統合した学術資料館や、伝統文化リサーチセンター資料館の設置を経て、平成25(2013)年に國學院大學博物館が発足した。

常設展では、校史・学術資産研究センターの所管資料を交えながら大学の歩みを辿り、考古学から見た日本列島の歴史を通観した上で、神道と日本文化に対する理解を深めていくことができる。また、特別展・企画展や特集展示による研究公開事業をはじめ、各種の教育普及事業、博物館連携事業などを通して、社会に開かれた大学の窓口としての役割も担っている。

博物館データ

■ 目的 博物館法(昭和26年12月1日法律第285号)に準拠し、國學院大學における建学の精神に基づいた日本文化に関する学術資料を広く調査研究、収集、分類、保管、展示するとともに、学術研究の成果の公開、発信を行い、もって研究教育の支援及び社会貢献に資すること。

■ 事業

- (1) 学術資料の調査研究、収集、分類、保管、展示
- (2) 学術資料に関する調査研究成果の公開、発信
- (3) 本学の研究教育支援
- (4) 生涯学習の推進
- (5) 教育、学術、文化に関する学外機関との連携
- (6) その他、本博物館の運営に必要な事業

■ 施設概要

展示室	1613.99㎡
考古収蔵庫	303.87㎡
神道・校史収蔵庫	277.88㎡
博物館事務室	162.00㎡
展示準備室	81.0㎡
撮影室	36.75㎡ ほか

■ 構成員
(平成28年度)

館長	1名
専任教員	6名
学芸員	3名
事務職員	3名
研究員等	2名

■ 年間入館者数 59,390名(平成28年4月1日～平成29年2月21日現在)
(参考) 44,757名(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

本事業は、平成26年度文化庁「地域と共働した美術館・歴史博物館創造活動支援事業」に採択された「東京・渋谷から日本の文化を発信するミュージアム連携事業」及び平成27年度文化庁「地域の核となる美術館・歴史博物館支援事業」に採択された「東京・渋谷から日本の文化を国際発信するミュージアム連携事業」を発展的に事業推進するため、平成28年度文化庁「地域の核となる美術館・歴史博物館支援事業」に採択された「東京・渋谷から日本の文化・こころを国際発信するミュージアム連携事業」を実施したものである。

実施主体である國學院大學博物館を中核館とした國學院大學博物館地域共働連携事業実行委員会(実行委員長・赤井益久学長)には、渋谷区、山種美術館、東洋文庫に加え本年度より新たに日仏会館 フランス国立日本研究センター及び国立オリンピック記念青少年総合センターが参画した。

連携館の相互の知的・物的資源の活用と交流を図り、文化芸術・教育・地域振興等の分野で相互に協力し、文化の発展や地域社会の振興、学術研究の向上、人材育成、生涯教育に寄与することを目的とするものであるが、本年度ではとりわけ「多言語サービス」に力点を置き、グローバルな日本文化の発信の実践やリサーチ事業に重点を置いた多様な事業を実施した。4月28日に実施された國學院大學博物館地域共働連携事業実行委員会会議において諮られた事業の方針と、計画のコンセンサスに基づき事業が進められた。

事業構成

■ 事業名 東京・渋谷から日本の文化・こころを国際発信するミュージアム連携事業

■ 支援事業 平成28年度文化庁 地域の核となる美術館・歴史博物館支援事業

■ 実施団体 國學院大學博物館地域共働連携事業実行委員会

■ 中核館 國學院大學博物館

■ 実行委員長 國學院大學学長 赤井益久

■ 構成団体

- ▶ 公益財団法人 山種美術財団
- ▶ 公益財団法人 東洋文庫
- ▶ 渋谷区
- ▶ 日仏会館 フランス国立日本研究センター
- ▶ 国立オリンピック記念青少年総合センター

■ 構成事業

多言語化	外国人来館者に対する多言語サービスの充実……	言語
地域	博物館を核にした地域の文化交流……	地域
グローバル	日本文化発信のグローバル連携……	国際
新たな機能	日本の文化とこころの発信……	体験

本報告書では、文化庁事業として実施した事業区分を上記マークで表記しています。

■ 実施時期 平成28年4月1日～平成29年3月31日

April

2016

- 新年度スタート
 - 企画展「中世の古文書をよむ」展示替え
 - 企画展ミュージアムトーク
 - 西南学院大学相互貸借展示ミュージアムトーク
 - 企画展「偶像の系譜ー神々と藝能の一万年ー」開催
- …e.t.c.

49 likes 

10 photos shared



April 2016

Timeline Photos - April 2nd, 2016 at 3:10 PM 69

[INFORMATION / 新年度スタート!]

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます！
 新年度も始まり、本日は國學院大學で入学式が行われました。
 博物館前の桜も満開となり、春の訪れを感じさせ、キャンパスを彩ってくれています。國學院大學博物館は、大学のオリエンテーション期間中も休まず開館しております。
 学生の皆さんはもちろんのこと、保護者の方々、一般の方々にもご利用いただけます。渋谷キャンパスにお越しの際は、國學院大學が誇る収蔵品の数々を、ぜひご覧ください。



Timeline Photos - April 5th, 2016 at 12:34 PM 46

[INFORMATION / 企画展「中世の古文書をよむ」展示替え]

昨日、企画展「中世の古文書をよむ」の展示替えが行われました。本日より新たな文書をご覧いただけます！
 本企画展のチラシやポスターに使用されている豊臣秀吉花押が書かれた「豊臣秀吉判物」や、「足利尊氏御内書」などを新たに公開！
 入れ替わった資料については、ホームページに掲載されている出品目録 (PDFファイル) をご参照ください。



Timeline Photos - April 12th, 2016 at 4:07 PM

56



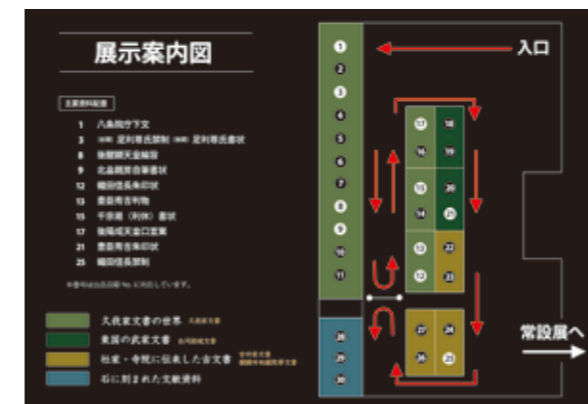
[REPORT / 企画展「中世の古文書をよむ」ミュージアムトーク]

今回の企画展では、國學院大學が所蔵している古文書のうち、久我家文書 (国指定重要文化財) や吉田家文書など、史料価値が高く、内容的にも興味深い中世の古文書をご紹介します。
 足利尊氏や織田信長、豊臣秀吉といった歴史上の著名人による文書も多数展示中です。先日、4月9日には「信長・秀吉の古文書」と題し、堀越祐一本学客員研究員・文学部兼任講師によるミュージアムトークを、博物館のホールにて開催しました。
 信長の「天下布武」の意味や、秀吉の花押や朱印の実際の書き手や押し手のところの推察など、専門家ならではの着眼点からの解説は興味深いものでした。
 トーク終了後、80名以上の参加者は、実際に古文書を見ながら、当時の人々のところに思いを馳せているようでした。企画展「中世の古文書をよむ」は、4月17日 (日) まで開催中です。お見逃しなく！

Timeline Photos - April 14th, 2016 at 5:20 PM 38

[INFORMATION / 企画展「中世の古文書をよむ」残り3日です!]

開催中の企画展「中世の古文書をよむ」の展示が残りわずか3日となりました。今回20年ぶり公開された「久我家文書」が見れるのは、今週末が最後です！たくさんの方の歴史上の人物に関わる文書が並んでいます。ぜひお越しください。お待ちしております。



Timeline Photos - April 21st, 2016 at 6:34 PM 35

[INFORMATION / 西南学院大学相互貸借特集展示「異国イメージ」ミュージアムトークのお知らせ]

当館にて展示中の、相互貸借特集展示「異国イメージ！一紅毛人から阿蘭陀人へ」は4月23日 (土) までの公開となります。
 最終日の4月23日 (土) にはミュージアムトークを開催！14:00より、熊本大学文学部准教授・本学研究開発推進機構共同研究員の安高啓明先生にご解説いただきます。
 申込不要、参加費無料です。ご興味のある方は、当日14:00までに、博物館内のホールにお集まりください。



[REPORT / 西南学院大学相互貸借特集展示

「異国イメージ | 紅毛人から阿蘭陀人」ミュージアムトーク]



本学博物館と協定を結んでいる西南学院大学博物館（福岡県福岡市）所蔵の資料を展示する、相互貸借特集展示「異国イメージ | 紅毛人から阿蘭陀人へ」のミュージアムトークが本日より行われました。

今回は、熊本大学文学部准教授・本学研究開発推進機構共同研究員の安高啓明先生にご解説いただきました。

安高先生は、当時の日本に來航する外国人への認識の一連の流れを「紅毛人プラーク」などの展示品を紹介しながら解説、当時の日本人の「異国」というイメージについて詳しく解説されました。

「異国イメージ | 紅毛人から阿蘭陀人」の展示は本日で終了し、次回の相互貸借特集展示（西南学院大学博物館資料）「ICON - キリスト教の聖像画 -」は、明日からの公開となります。ぜひこちらをご覧ください。



[REPORT / 企画展「偶像の系譜」スタート]

企画展「偶像（アイドル）の系譜—神々と藝能の一万年—」が昨日から開催となりました。

ミュージアムトークは下記日程で行います！ さあ、偶像（アイドル）の本質に迫りましょう。

(1) 「歴史に見る“アイドル”の原点」

日時：平成28年5月7日（土）14:00～15:00

講師：深澤太郎（当館准教授）×石井匠（当館学芸員）

(2) 「江戸・東京のカワイイ文化」

日時：平成28年5月14日（土）14:00～15:00

講師：藤澤紫（本学文学部教授）



- 事業 連携事業実行委員会会議
- 企画展ミュージアムトーク
- 言語 企画展の英語解説シート
- 西南学院大学博物館でのミュージアムトーク
- 特集展示「登拝と行」開催

...e.t.c.

468 likes

11 photos shared



May 2016

Timeline Photos - May 4th, 2016 at 3:53 PM

事業 65

[REPORT / 連携事業実行委員会会議]

一昨年度、昨年度につづき、平成28年度文化庁「地域の核となる美術館・歴史博物館支援事業」に、今年度も採択されました。

今年度は、当館、渋谷区、山種美術館、東洋文庫に、新たに日仏会館 フランス国立日本研究センターと、国立オリンピック記念青少年総合センターの2つ連携団体を加えた國學院大學博物館地域共働連携事業実行委員会が「東京・渋谷から日本の文化・こころを国際発信するミュージアム連携事業」を推進してまいります。

事業実施に向け、4月28日（金）に当館ホールにて國學院大學博物館地域共働連携事業実行委員会会議を開催いたしました。

昨年度の実施報告でその成果を確認し、今年度の事業実施計画の共通認識が図られました。会議後、懇親会で交流を深め、事業関係者からは新たな決意も聞かれました。



Timeline Photos - May 7th, 2016 at 4:57 PM

96



[REPORT / 企画展「偶像の系譜」ミュージアムトーク]

現在開催中の企画展「偶像（アイドル）の系譜」のミュージアムトークが行われました。本日は、本企画展の担当教員である深澤太郎准教授と当館学芸員石井匠によるトーク＆セッション形式。

深澤准教授は、現代のアイドル像から古代までに遡る人間の偶像（アイドル）感の系譜を辿り、石井学芸員は土偶の発生からその変遷過程を中心に21世紀の偶像（アイドル）についても言及。100名を超える参加者は2人のトークに熱心に聞き入っていました。

本企画展のミュージアムトークは来週も行われます。

【次回ご案内】「江戸・東京のカワイイ文化」
日時：平成28年5月14日（土）14:00～15:00
講師：藤澤紫（本学文学部教授）

Timeline Photos - May 14th, 2016 at 5:39 PM

60

[REPORT / 企画展「偶像の系譜」ミュージアムトーク]

本日、14:00より企画展「偶像（アイドル）の系譜—神々と芸能の一万一年—」のミュージアムトークの第2弾が行われました。

今回は「江戸・東京のカワイイ文化」というテーマで、本学文学部教授の藤澤紫先生が講演されました。

当時江戸で大人気だった「笠森お仙」や「柳屋お藤」、「難波屋おきた」などを紹介。現代の「会いに行けるアイドル」に通じるアイドルの誕生には、江戸の出版界が深くかかわっていたことなど、アイドルを支えた江戸の文化について、江戸時代の美人画を例に挙げながら詳しく解説されました。

参加者は100名を超え、ミュージアムトーク終了後は改めて展示資料をご覧になれる方や、藤澤先生に質問する方が多く見受けられました。



Timeline Photos - May 21st, 2016 at 6:09 PM

50

[REPORT / 企画展「偶像の系譜」ミニ・ミュージアムトーク第1弾！]



本日、日本文化を知る講座『日本列島芸能史』第1回「江戸時代の大道芸」にあわせて、企画展「偶像（アイドル）の系譜」ミニ・ミュージアムトークを行いました。

講座で講演された、奈良大学文学部准教授の村上紀夫先生をお招きし、当館准教授の深澤太郎先生と共に20分間のトークを繰り広げました。

太神楽などを例に挙げつつ、現代においてどのように芸能が成立しているのかを詳しく解説されました。

急遽開催が決定されたミニミュージアムトークにもかかわらず、約80名の方にご参加いただきました。村上先生と深澤先生との掛け合いに、時折会場は笑いに包まれ、楽しいミニトークとなりました。

Timeline Photos - May 24th, 2016 at 1:05 PM

言語 26

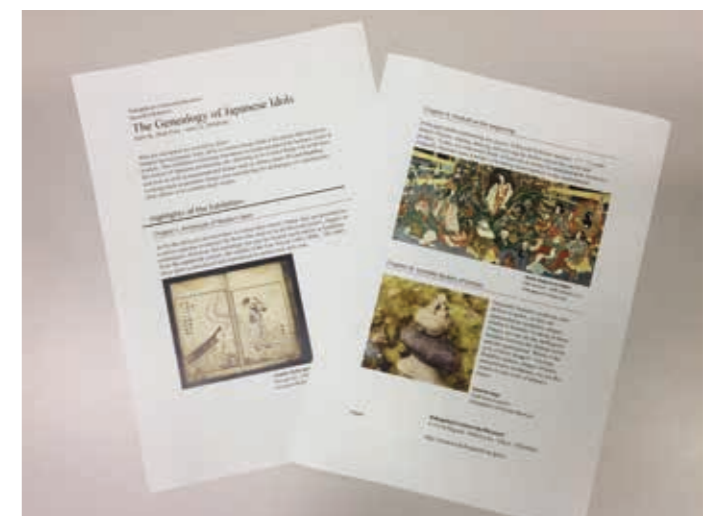
[INFORMATION / Welcome to Special Exhibition!!]

In addition to the previously completed exhibition list and captions, we have now finished preparing English language summaries for the current exhibition, "The Genealogy of Japanese Idols. Using English language summaries, those who don't understand Japanese can increase their enjoyment and understanding of the current exhibition. We are ready to welcome you!

現在、開催中の企画展“The Genealogy of Japanese Idols”では、外国の方にもご理解いただけるよう、展示資料リストとキャプションを英語化していますが、今回、概要文章と章解説を英語化しました。日本語がわからない方も英文の解説で展覧会を楽しむことができます。ご来館をお待ちしています！

— Special Exhibition —

The Genealogy of Japanese Idols



Timeline Photos - May 27th, 2016 at 6:59 PM

37

[REPORT / 西南学院大学にて ミュージアムトークを行いました！]

西南学院大学博物館（福岡県福岡市）にて、本学収蔵資料の天神人形を展示した、相互貸借特集展示「天神人形―各地の天神さま―」【会期：平成28（2016）年2月15日（月）～5月25日（水）】のミュージアムトークを行いました。

講師は当館准教授の大東敬明先生がつとめ、本学収蔵の宮地直一コレクションの天神人形を例にあげながら、天神信仰と天神人形について解説しました。

ミュージアムトーク終了後は、会期を終えた「天神人形―各地の天神さま―」の展示を撤収し、次回の展示の設営を行いました。



Timeline Photos - May 29th, 2016 at 4:25 PM

49



[REPORT / 企画展「偶像の系譜」ミニ・ミュージアムトーク]

昨日、「偶像（アイドル）の系譜」展の関連イベントである「日本文化を知る講座『日本列島藝能史』第2回「古代日本の芸能と音楽の考古学」が開催されました。

講座終了後、講師の石守晃氏（群馬県埋蔵文化財調査事業団上席専門員）を博物館ホールにお招きし、ミニ・ミュージアムトークを開催しました。

古代の復元楽器や実際に音の鳴る考古遺物を、トーク参加者に披露するイベントとなりました。70名ほどの参加者は、さまざまな復元楽器を手に取り、古の音を楽しんでいました。

Timeline Photos - May 31st, 2016 at 6:33 PM

85

[INFORMATION / 特集展示「登拝と行」が明日より開催]

明日より神道展示室の一部にて、特集展示「登拝と行」が始まります。今回の展示は、教派神道連合会との共催で、山岳信仰と教派神道との関わりを展示しております。この機会にぜひお立ちよりください。

会期は、6月30日までの1ヶ月間となっております。貴重な展示です。お見逃しなく！



June 2016

- **体験** 「外国人向け 浮世絵摺り実演・体験会！」告知
- 企画展「古文書で〈つなぐ〉江戸時代」開催
- 企画展ミュージアムトーク

...e.t.c.

196 likes

4 photos shared



Timeline Photos - June 16th, 2016 at 8:50 PM



[INFORMATION / 新企画展スタート!!]

明日より新しい企画展「古文書で〈つなぐ〉江戸時代」が開始となります。

今回の企画展は、武家・公家・民衆それぞれの社会の中を、またそれらの異なる社会間を相互につないだ古文書を展示し、このつながりから江戸時代を見ていきます。古文書と言っても、文字だけではなく、挿絵の魅力もお楽しみいただける展示となっております。

また2メートルを超える巨大な古文書も登場！重要文化財の久我家文書も展示されています。この企画にぜひお越しください。

ミュージアムトークは下記日程です。1ヶ月という短い会期ですので、お見逃しなく！

■ミュージアムトーク■ ※申込み不要・無料

(1) 戦乱から平和へ

日時：6月18日(土) 14:00～14:30

講師：根岸茂夫(本学文学部教授)

(2) 江戸時代を支える民衆

日時：7月2日(土) 14:00～14:30

講師：根岸茂夫(本学文学部教授)

June 2016

Timeline Photos - June 7th, 2016 at 1:48 PM

[INFORMATION / UKIYO-E Demonstration! (Free) - Experience printing Japanese Ukiyo-e with skilled Artisans! -]



Information and registration for Kokugakuin University Museum's English Ukiyo-e Demonstration on August 3, 2016 is now online.

Participants at this event will have the opportunity to experience printing Hokusai's "Great Wave of Kanagawa," under the guidance of a master craftsman from the Adachi Foundation.

Space is limited to forty participants, register soon to ensure your place at this exciting event. We look forward to seeing your work!

UKIYO-E Demonstration! (Free)

- Experience printing Japanese Ukiyo-e with skilled Artisans! -

Timeline Photos - June 18th, 2016 at 5:30 PM



[REPORT / 企画展「古文書で〈つなぐ〉江戸時代」ミュージアムトーク]

本日14:00より、企画展「古文書で〈つなぐ〉江戸時代」のミュージアムトークを開催。

「戦乱から平和へ」というテーマで、本学文学部教授の根岸茂夫先生にご解説いただきました。根岸先生は、中世社会は自力救済の時代(一揆の時代)であった一方、近世社会は自力救済を禁じ、文書による政治や、民衆の願いが反映された政治を行うことによって、平和な世が実現された時代であったことを詳しく解説。合戦や征服を重ねて平和を築いたのではなく、庶民文化や文書をはじめとするいろいろなつながりが、江戸時代の広がりを生み出していったことを紹介しました。




本日は、60名を超える参加者が訪れました。根岸先生は、参加者の質問に熱心に回答され、ミュージアムトーク終了後は、展示室を回りながら資料1点1点について詳しく解説されました。本企画展は、「〈つなぐ〉キャプション」という解説を設けています。根岸先生がミュージアムトークでご説明されたような江戸時代の〈つながり〉が、資料を〈つないで〉見ることによって、より詳しくわかる展示となっております。ぜひ、本企画展で、江戸時代のさまざまな〈つながり〉をご覧ください。

企画展「古文書で〈つなぐ〉江戸時代」

会期：平成28年6月17日(金)～7月16日(土) 会場：國學院大學博物館企画展示室

July

2016

- 企画展ミュージアムトーク
- 「渋谷でじぶろ」で紹介
- 七夕に博物館でイベント開催
-  国際 日仏会館連携イベント3本立て
- 國學院大學附属幼稚園見学
-  地域 夏休みワークショップ「紙すき体験」
-  国際 国内博物館調査：三重出張
- 國學院大學オープンキャンパス

…e.t.c.

457 likes 

20 photos shared



July 2016

Timeline Photos - July 2nd, 2016 at 6:54 PM

39

[REPORT / 企画展「古文書で〈つなぐ〉江戸時代」ミュージアムトーク]

本日14:00より、企画展「古文書で〈つなぐ〉江戸時代」のミュージアムトーク第2弾を開催しました。前回に引き続き、本学文学部教授の根岸茂夫先生に「江戸時代を支える民衆」というテーマで、ご解説いただきました。

江戸時代は、いさかいがあつた時などに権力が介入する程度で、当時村や町で暮らす人々は一定の自治と自立性を持って生活を営んでいたことを紹介。村請制や訴訟、商取引、個人同士の意思伝達の手紙など、さまざまなシーンで膨大な文書が庶民の手によって記されたことなどを例に挙げ、「文書による政治」が江戸時代の平和な世を実現しただけではなく、「文書による保証」により、民衆が力をつけていったこと、そして、こうした民衆の力が江戸時代を支え、近代を受け入れる実力となっていったのだということを、解説されました。

本日のミュージアムトークは、100名を超える方々にご参加いただきました。終了後は、根岸先生が机の上に広げた古文書を、皆さん興味深そうに観覧していました。



[INFORMATION / 「渋谷でじぶろ」で当館が紹介]

渋谷を訪れる人、沿線にお住まいの方へ、ちょっとプラスになる地域情報を発信し、地域活性化を目指して運営されている「渋谷でじぶろ」さまにご紹介いただきました。

Timeline Photos - July 6th, 2016 at 11:05 AM

70



Timeline Photos - July 6th, 2016 at 7:11PM

国際 82



[INFORMATION / 明日は七夕☆博物館でイベントを開催！]

明日、7月7日は七夕です！大学でも各所に七夕の飾りつけが行われ、風流が感じられます。國學院大學では日本文化の発信の一環として、七夕の1日を浴衣で過ごすイベントを学生向けに実施しています。そして、当博物館でも七夕の日に下記イベントを開催します！博物館で開催するイベントは、学生だけでなく一般の皆さまにもご参加いただけます。明日はぜひ、浴衣姿でご来館ください。博物館で涼みながら、七夕の夕暮れと一緒に楽しみましょう！

《國學院大學博物館・日仏会館 フランス国立日本研究センター連携イベント》

◇特集展示「大津絵の展示」

会期：平成28年7月4日（月）～7月10日（日）

会場：國學院大學博物館神道展示室

※本特集展示は、博物館の一角で行っている小規模展示です。

◇ミュージアムトーク「江戸の庶民絵画大津絵」

日時：平成28年7月7日（木）16:00～16:30

講師：クリストフ・マルケ

（国立東洋言語文化大学教授）

会場：國學院大學博物館ミュージアムホール

※お申し込み不要、参加費無料です。時間になりましたら、博物館ミュージアムホールまでお越しください。



《國學院大學博物館・日仏会館 フランス事務所連携イベント》

◇Manouche Jazz Live (マヌーシュ・ジャズライブ)

日時：平成28年7月7日（木）17:00～（終了予定18:00）

会場：國學院大學博物館ミュージアムホール

GUITAR：山本大暉

GUITAR：Nicolas Carré (ニコラ・カレ)

主な演奏曲

・A列車で行こう Take The Atrain

・雲 Nuages

・マイナーブルース Blues en Mineur

※お申し込み不要、参加費無料です。時間になりましたら、國學院大學博物館ミュージアムホールまでお越しください。

なお、開館時間中の開催となりますので、展示観覧される方は本ライブが行われていることをご承知おきのうえご観覧いただきたくお願い申し上げます。



Timeline Photos - July 9th, 2016 at 3:07 PM

国際 32

[REPORT / 7/7開催イベント3本立て！日仏会館連携イベント]

7月7日の七夕に、当館が行った各種イベントを紹介します。

◇ミュージアムトーク「江戸の庶民絵画大津絵」

開催中の特集展示「大津絵の展示」(～7/10(日))に関連し、「江戸の庶民絵画大津絵」というテーマで大津絵研究の第一人者であるクリストフ・マルケ先生(国立東洋言語文化大学教授)によるミュージアムトークが行われました。参加者は先生の語る大津絵の魅力に引き込まれている様子でした。

◇夕涼み マヌーシュ・ジャズライブ 国學院大學博物館

17:00からは山本大暉氏、Nicolas Carré(ニコラ・カレ)氏をお招きし、館内にてマヌーシュ・ジャズライブを開催しました。マヌーシュ・ジャズとは1920年代にパリで生まれた、楽しげなスウィングジャズと哀愁あふれるジブシーの旋律を融合した音楽です。展示品に囲まれたホールには、酔いしれるような生音が響き渡りました。

◇講演会「カタルーニャにおける日本美術コレクションと芸術家への影響」

18:00からは、リカル・ブル先生(バルセロナ自治大学教授)による講演会を行いました。先生はおもにヨーロッパにおける日本美術の影響についてご研究されており、講演会ではカタルーニャにある日本コレクションを、数多くのスライドを使ってご紹介いただきました。開催イベントの詳しい様子は「国學院大學広報課取材日誌」でもご覧いただけます。



Timeline Photos - July 10th, 2016 at 10:04 AM

54

[REPORT / 国學院大學附属幼稚園見学]

7月8日に国學院大學附属幼稚園年長組の皆さんが来てくださいました。

博物館の説明と見学にあたっての約束事を聞いたあとは、4グループに分かれて館内を見学します。館内に立つスタッフの説明を聞いて回りながら、ちょっとした探検気分を味わっているようでした。

神道展示室では狛犬をじっくり眺めたり、考古学展示室では埴輪の形を当ててみたりと、たくさんの展示品に興味津々の様子。展示されている勾玉を見つけたときには、「こくびよんの首についてるやつだ!」と歓声を上げていました。

目を輝かせて見学してくれる姿に、元気ももらった1日でした。



Timeline Photos - July 25th, 2016 at 3:10 PM

地域 55

[REPORT / 夏休みワークショップ「紙すき体験！」]

7月23日(土)・24日(日)の2回にわたって、白根記念渋谷区郷土博物館・文学館と共催で子ども向け夏休みワークショップ「紙すき体験」が行われました。参加者は大人と子どもをあわせて57名。製作は、両日とも郷土博物館の多目的室で行いました。まず紙の歴史やしくみなどを学習したのち、紙の材料であるパルプや楮を使って、はがきサイズの紙をすいて作りました。参加者の皆さんは慣れてくると、くり抜いた色紙や落ち葉などもすき込み、思い思いのはがきを製作していました。



Timeline Photos - July 26th, 2016 at 1:10 PM

国際 45

[REPORT / 国内博物館調査報告：三重出張]

7月22日(金)・23日(土)にわたって、多言語化の推進と、今後の当館運営の更なる充実を図るため、他館の取り組みを視察・調査に行き参りました。今回は三重県内の博物館を視察、三重県総合博物館、斎宮歴史博物館、神宮徴古館、式年遷宮記念神宮美術館、松浦武四郎記念館などを巡りました。三重県総合博物館では、中村千恵学芸員より博物館の多言語化、運営、展示について詳しくお話を伺うことができました。





[INFORMATION / 國學院大學オープンキャンパス開催!]

本日7月29日(金)、30日(土)の2日間、國學院大學ではオープンキャンパスを開催!

教職員・在学生による個別相談や体験授業、入試対策講座、各種説明会、キャンパスツアー、トークショーなど、盛りだくさんの内容です。大学を目指す皆さん、ぜひ國學院大學のオープンキャンパスに参加してみてくださいね。

また、國學院大學渋谷キャンパスには博物館もあり、大学の誇る、さまざまな資料を展示しています。

オープンキャンパスにお越しの際は、ぜひ博物館もご覧ください。「拳手人面土器」というとても珍しい土器の看板が目印です。みなさんのご来場・ご来館をお待ちしております!



[REPORT / 企画展「く学びへの誘い」江戸文学の世界—江戸戯作と庶民文化—ミュージアムトーク]

本日14時より、企画展のミュージアムトークが行われました。今回は、本学文学部准教授の中村正明先生が、参加者と一緒に展示室を回りながら、解説を行いました。

江戸時代の本とはどういうものか説明され、現代にまで続く、マスメディアの意識や基本は、江戸時代から始まったと言える、ということも述べられました。また、江戸戯作の始まりにも触れ、ここから庶民の文学が生まれたといったという経緯を紹介しました。

展示解説では、『道中膝栗毛』や『児雷也豪傑譚』『白縫譚』『南総里見八犬伝』など、資料ひとつひとつを、ストーリーや書かれた時代背景などを紹介しながら詳しく解説されました。

次回のミュージアムトークは、8月27日(土)14時です。次回も中村先生による展示解説を予定しておりますので、ご興味のある方はぜひご参加ください。



- 体験 体感! 浮世絵摺り実演・体験会、浮世絵講座
- 地域 夏休みワークショップ「勾玉づくり体験」
- 体験 夏休みワークショップ「子ども歴史講座」
- 言語 山種美術館 多言語化の取り組み
- 企画展 ミュージアムトーク

...e.t.c

August 2016

246 likes

11 photos shared



Timeline Photos - August 8th, 2016 at 3:10 PM

地域 55

[REPORT / 夏休みワークショップ「勾玉づくり体験！」]

8月6日(土)・7日(日)は、白根記念渋谷区郷土博物館・文学館と共催で子ども向け夏休みワークショップ「勾玉づくり体験」が行われました。2日間で3回実施し、参加者は大人も子どももあわせると延べ75名となり、勾玉をはじめとする古代のアクセサリを製作しました。

勾玉づくりは、まず郷土博物館に集合した後に國學院大學博物館へ移動し、実物の資料を見ながら古代人のアクセサリについて学びました。

学習後、郷土博物館の多目的室に戻って作り方を学び、実際に材料の滑石を削ったり磨いたりして勾玉を作ったほか、オリジナルのアクセサリも作成しました。



August 2016

Timeline Photos - August 3rd, 2016 at 8:15 PM

体験 35

[REPORT / 体感！浮世絵摺り実演・体験会、浮世絵講座]

本日、学術メディアセンター多目的ホールで「体感！浮世絵摺り実演・体験会」が実施されました。今年は、一般向けの会のほか、外国人向けの会を初めて開催し、日本文化の体験発信の機会となりました。

このイベントは平成28年度文化庁の「地域の核となる美術館・歴史博物館支援事業」に採択された「東京・渋谷から日本の文化を国際発信するミュージアム連携事業」のイベントの一環として開催されました。

午前は外国人向けの会として開催され、アダチ伝統木版画技術保存財団の摺り師による葛飾北斎「富嶽三十六景 神奈川沖浪裏」摺り実演の観覧と体験会が行われました。参加者は本学博物館のスタッフによる英語での通訳を聞きながら、一色ずつ色が施され、浮世絵が出来上がる様子を観覧したあと、後半の摺り体験では、実際に1人ずつアウトラインとなる版の摺り体験を行いました。参加者は、摺り作業の様子を写真に収めたり、出来上がった作品を手にとって喜ぶ姿が見られました。午後2時からは、小学生以上を対象とした一般の体験会を開催。外国人向け体験会と同様に「富嶽三十六景 神奈川沖浪裏」の摺り作業の観覧と摺り体験が行われました。

午後4時からは、関連企画として常磐松ホールで浮世絵講座が開催されました。「怖い浮世絵 涼しい浮世絵」と題して、太田記念美術館主幹学芸員の渡邊晃氏と本学の藤澤紫文学部教授から、夏の夜にふさわしい涼やかな作品や背筋が寒くなる逸話などを通して浮世絵の魅力が語られました。



Timeline Photos - August 20th, 2016 at 5:52 PM

体験 46

[INFORMATION / 今日から開館！ & 夏休み子ども歴史講座開催]

本日より國學院大學博物館は通常通りの開館となります。

早速、白根記念渋谷区郷土博物館・文学館で「夏休みワークショップ」の「子ども歴史講座」が開催され、参加している子どもたちが来館しました。

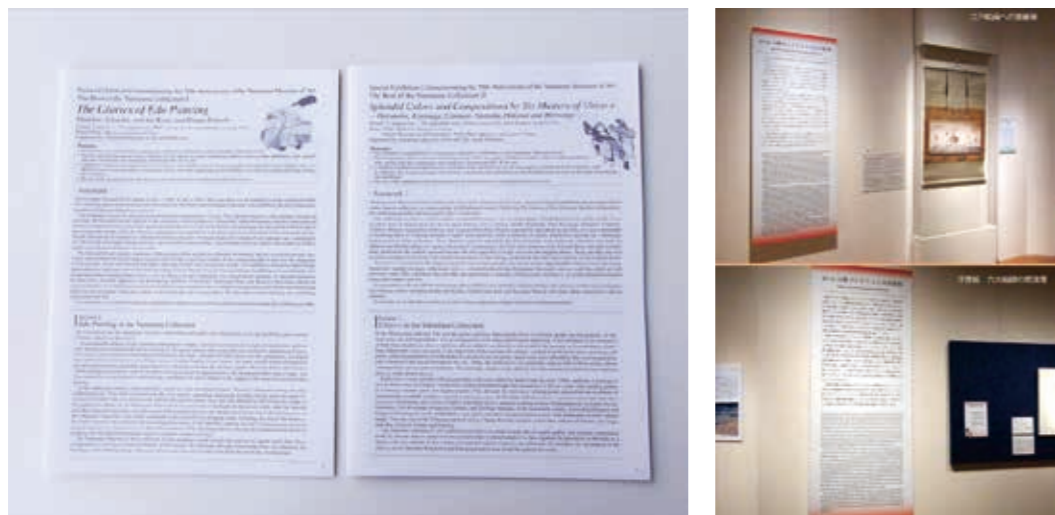
当館では、石井学芸員が縄文時代の生活について、実際の考古資料を見せながら解説を行い、子ども達は熱心に聞き入っていました。

博物館は、明日も開館です。ぜひ足をお運びください。



[REPORT / 山種美術館 多言語化の取り組み]

山種美術館では、本年度は5つの展覧会において多言語化に取り組んでいます（写真はそのうちの「江戸絵画への視線」(7/2～8/21) および「浮世絵 六大絵師の競演」(8/27～9/29) 両展の会場内の大型パネル類の日英バイリンガル化、各作品の解説を記した無料配布用の英文冊子)。外国人来館者およびその案内者からの、日本画についての理解が深まったという声に加え、解説文章の内容および英文のクオリティについても専門家の方を含む複数の方々から、高い評価をいただきました。



[REPORT / 企画展「く学びへの誘い」江戸文学の世界—江戸戯作と庶民文化」ミュージアムトーク]

8月27日に、企画展「く学びへの誘い」江戸文学の世界—江戸戯作と庶民文化」ミュージアムトークの第2弾を開催しました。

本学文学部准教授の中村正明先生が、参加者と展示室を回りながら本企画展の資料について解説しました。解説では、江戸独自の文化、遊郭文化を題材に書かれた読みものである「洒落本」や、特に歌舞伎等の題材が書かれることが多く、どこを開いても絵が描かれその横に文字が書いてある「黄表紙」、誰もが親しみやすい身近な生活を面白おかしく書いた「滑稽本」、庶民の色恋をテーマにした読み物である「人情本」、「黄表紙」のように絵と文で構成された長編の本である「合巻」など、江戸時代に出版されたいろいろな本の種類を紹介。マスコミとしての文学というものが江戸時代に成立し、当時の人たちが作り手も読み手も楽しんで文学に親しんでいたことを、展示されている本の特徴や見どころなどを交えながらお話しされました。

企画展「く学びへの誘い」江戸文学の世界—江戸戯作と庶民文化」は、本日が最終日です。18:00閉館（最終入館は17:30）となります。まだご覧になられていない方は、ぜひこの機会をお見逃しなく。



September 2016

- 企画展「日本に根付いた渡来人—高麗郡と高麗神社—」開催
- 特集展示「折口信夫と『死者の書』」開催
- **体験** 渡来文化 ネットワーク・サミット「東アジアの国際交流」
- 特集展示ミュージアムトーク&近藤ようこサイン会
- 特集展示「折口信夫と『死者の書』」辰巳正明講演会&映画上映
- 特集展示「八幡さま」公開
- 企画展ミュージアムトーク2本立て

...e.t.c.

503 likes

14 photos shared



Timeline Photos - September 4th, 2016 at 7:22 PM

体験 46

[REPORT / 渡来文化 ネットワーク・サミット in 東京を開催]

9月3日(土)午前10時より、國學院大學渋谷キャンパスの常磐松ホールにて、「渡来文化ネットワーク・サミットin東京東アジアの国際交流ー古代から未来へー ~2016年度高麗郡建郡1300年記念事業~」が、平成28年度文化庁「地域の核となる美術館・歴史博物館支援事業」に採択された「東京・渋谷から日本の文化・こころを国際発信するミュージアム連携事業」のイベントの一環で実施されました。

本サミットは、靈龜2(716)年に、東国に移住していた高句麗人1799人が武蔵国へ移され、高麗郡が設置されてから1300年経ったことを記念して、一般社団法人高麗1300と國學院大學博物館による主催で開催されました。当日は260名の参加者が集まり、会場は満員の盛況ぶりでした。

午前の部は、開式・挨拶の後、2つの記念講演が行われ、國學院大學の山崎雅穂助教による講演では、「『渡来人』と日韓関係の未来」と題し、日本と韓国の歴史対話を振り返りながら、共通教材の製作を念頭にしつつ、両国関係の未来への道標を提示されました。関東学院大学の田中史生教授による講演では、「『渡来人』と『日本人』」と題し、「帰化人」と「渡来人」と言う言葉の使用の変遷を見ながら、古代における来日外国人の存在や当時の世界観を解説されました。

休憩の際には、多くの方が当館で開催中の企画展「武蔵国高麗郡建郡1300年『日本に根付いた渡来人ー高麗郡と高麗神社ー』」を観覧しました。高麗神社宮司・高麗文康氏は当企画展、奈良県明日香村長・森川裕一氏は常設展示の山の神遺跡を熱心に観覧されました。

午後の部は、事例発表の時間となり、明日香村長・森川裕一氏による代表事例発表をはじめ、群馬県高崎市の「歴史と文化を学ぶ会」、長野県松本市の「信州渡来人倶楽部」、滋賀県大津市の「近江渡来人倶楽部」、大阪府牧方市の「百済の会」、埼玉県日高市の「一般社団法人高麗1300」による事例が発表されました。

さらに、パネルディスカッションでは、各発表者がモデレータの深澤太郎当館准教授の進行で、発表内容を振り返りながら議論を深めました。

最後に一般社団法人高麗1300の平野直樹氏から、本サミットのメッセージが宣言され、閉会となりました。



September 2016

Timeline Photos - September 3rd, 2016 at 11:31 AM

170

[INFORMATION / 新しい企画展・特集展示が本日から始まります！]



本日、9月3日(土)より、新しい企画展「武蔵国高麗郡建郡1300年『日本に根付いた渡来人ー高麗郡と高麗神社ー』」が開催されます。本展覧会では、高麗郡の成り立ちと、高麗神社の歴史を振り返りつつ、日本に根付いた渡來人の姿を見ていきます。高麗王若光を祀る高麗神社の社宝などがご覧いただけます。

また、本日より、生誕130年記念特集展示「折口信夫と『死者の書』」も公開となりました。民俗学者・国文学者の折口信夫(1887~1953)の小説『死者の書』の関連資料や、漫画家近藤ようこさんの『死者の書』漫画原画の展示がご覧いただけます。

ミュージアムトークなどの関連イベントもありますので、ぜひ当館ウェブサイトをチェックしてみてください。

■ 企画展「武蔵国高麗郡建郡1300年『日本に根付いた渡来人ー高麗郡と高麗神社ー』」

会期：平成28年9月3日(土)~10月10日(月・祝)
会場：國學院大學博物館企画展示室

■ 生誕130年記念特集展示「折口信夫と『死者の書』」

会期：平成28年9月3日(土)~10月10日(月・祝)
会場：國學院大學博物館校史展示室・ホール



Timeline Photos - September 11th, 2016 at 11:43 AM

62

[REPORT / 生誕130年記念特集展示

「折口信夫と『死者の書』」近藤ようこミュージアムトーク&サイン会]

昨日、漫画『死者の書』の作者・近藤ようこさんを講師にお迎えし、ミュージアムトーク「『死者の書』を漫画化すること」を開催しました。高校生の時に原作を読んで以来、40年の時を経て念願だった「死者の書」を漫画化するにいたる経緯や、漫画家として折口と対話しながら、難解な小説に込められた折口の意図をくみ取りつつ描いていった細かな作品の描写についてなど、作者でしか語れない貴重なお話に、およそ90名の参加者が聞き入っていました。

次回、ミュージアムトークは、9月17日(土) 13:00～13:30(無料・申込み不要)。民俗学を専門とする小川直之本学教授による「折口信夫と『死者の書』一学問と創作一」です。

また、同日、川本喜八郎監督作品・長編アニメーション映画『死者の書』上映会、辰巳正明本学名誉教授による講演会「死者の書一天上楽土への道案内一」も開催いたします。



Timeline Photos - September 17th, 2016 at 12:45 AM

101

[REPORT / 特集展示「折口信夫と『死者の書』」ミュージアムトーク&映画上映会&辰巳正明講演会]

本日、当館では現在行われている、生誕130年記念特集展示「折口信夫と『死者の書』」の関連イベントとして、本学文学部教授で折口博士記念古代研究所所長の小川直之先生によるミュージアムトーク、長編アニメーション映画「死者の書」上映会、そして本学名誉教授の辰巳正明先生による特別講演の3つのイベントが行われました。小川先生の「折口信夫と『死者の書』一学問と創作一」と題されたミュージアムトークは、羽咋市で斎行される追空・春洋忌について触れた後、『死者の書』の背景そして発表・出版を説明し、本題でもある『死者の書』の内容について解説がありました。多くの論点が紹介された中で、民俗学・上代文学の研究者でもある折口博士が、この作品でなぜ仏教的要素を取り入れたのか等、興味深い解説が続きました。その後の映画上映会では、補助椅子まで準備した常磐松ホールに、300人を優に超える大入りで、来場者は人形アニメーションが醸し出す「死者の書」の世界に魅了されていました。

そして、辰巳先生の特別講演では、「死者の書」とは何か?、折口信夫の「死者の書」とは何か?、死者は何处へ、どのように帰るのか?、古代日本に「死者の書」は存在したのか?これらについて説明しながら、折口博士の最後の作品とも言える『死者の書』について解説しました。辰巳正明先生講演会 古代エジプト・チベット・中国少数民族苗族の『死者の書』の話、そして古代日本における「死者の書」の有無に触れながら、天孫降臨、二上山、神武東征を紹介しました。興味深い展開に傾聴していた約250人の参加者から熱い拍手が送られ、講演は終了となりました。



Timeline Photos - September 17th, 2016 at 3:01 PM

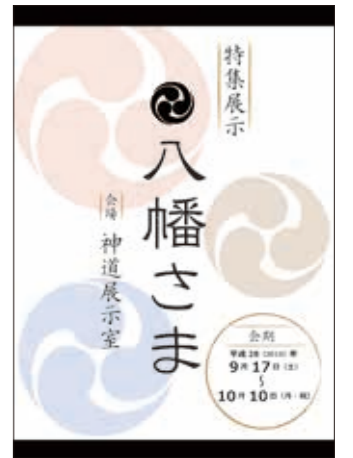
72

[INFORMATION / 特集展示「八幡さま」公開]

本日より、特集展示「八幡さま」が始まりました。

八幡さまと親しまれている八幡神は、宇佐神宮(大分県)をはじめ、石清水八幡宮(京都府)や鶴岡八幡宮(神奈川県)ほか、全国各地の八幡宮や八幡社、八幡神社など各社で祀られています。國學院大學博物館のご近所に鎮座する金王八幡宮も八幡さまをお祀りする神社です。

現在、金王八幡宮では9月18日(日)まで、お祭りが行われています。神社を参拝した後は、ぜひ博物館で展示をご覧ください。



Timeline Photos - September 24th, 2016 at 8:39 PM

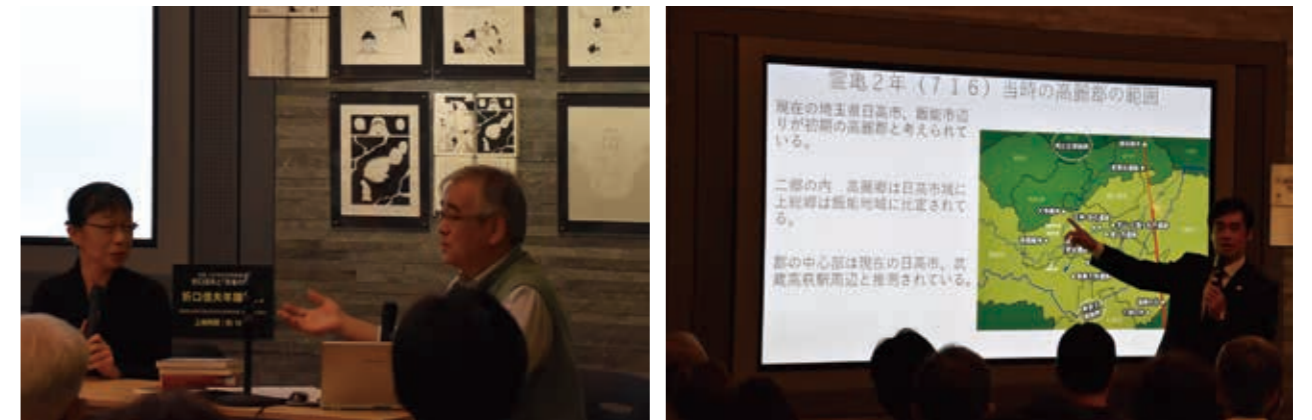
52

[REPORT / 本日のミュージアムトーク2本立て!!]

本日、9月24日(土)は2つのミュージアムトークが開催されました。前半は「國學院の学び、『死者の書』」というテーマで、本学文学部教授の小川直之教授と漫画家近藤ようこさんによるトーク。2人のトークショー形式のイベントに館内は大賑わいとなりました。二人とも高校生時に民俗学、特に折口民俗学と『死者の書』に巡り合い、國學院大學進学を決意。大学卒業後、片や漫画家に片や研究者に進まれたとのこと。

それぞれの立場から見た、『死者の書』との出会い、國學院大學の在学期間と大学の空気、そして折口博士の世界について興味深いトークが続きました。終了後、昨日展示替えをした近藤さんの漫画版『死者の書』の原画を見る方や、今回も近藤さんにサインを希望する方で長蛇の列となりました。

後半は、「武蔵国高麗郡建郡1300年『日本に根付いた渡来人—高麗郡と高麗神社—』」に関するミュージアムトークが行われました。講師として高麗神社宮司・高麗文康氏をお迎えし、高麗郡の歴史や神社の由緒、高麗氏縁の文化財などを紹介いただいたうえで、歴史を土台とし、先人への感謝の心を育んだ広域連携の地域づくりと、世界に向けて平和と友好のメッセージを発信する今後の事業のビジョンについてお話いただきました。



October

2016

- **体験** 「世界の宗教を知る」ワークショップ告知
- **地域** 「しぶや探検！ー渋谷で日本の文化を知るー」告知
- 神道展示室「舞楽図巻」巻き替え
- 特集展示「折口信夫と『死者の書』」持田叙子講演会
- ホームカミングデー
- 企画展「祭礼行列ー渡る神と人ー」開催
- 企画展の映像展示
- 企画展ミュージアムトーク
- **言語** 多言語化の取り組み
- **体験** 特集展示「インドの祈りと神々」開催
- 企画展関連映像上映会のお知らせ

...e.t.c.

442 likes 

16 photos shared



October 2016

Timeline Photos - October 6th, 2016 at 12:00 PM

体験 61

[INFORMATION / 「世界の宗教を知る」ワークショップ告知]

昨年度ご好評いただきました「世界の宗教知る」ワークショップを今年も実施することとなりました。今回は、「神道」「キリスト教」「ヒンドゥー教」の3つの宗教を取り上げます！

- 【第1回】
明治神宮で知る神道ー正式参拝の旅ー
11月6日(日)
- 【第2回】
渋谷で知るキリスト教ーキリストの教えと芸術ー
11月13日(日)
- 【第3回】
ヨガで知るインドーインドの信仰と哲学の世界ー
11月19日(土)

とも応募者多数の場合は抽選となりますので、ご了承ください。(事前申込・無料・人数限定)
また、この他にスペシャルプログラムとして、本学教授の井上順孝先生の特別講演やパキスタン・ハザラ大学から准教授を招いてのミュージアムトークイベントも企画。こちらは申込不要となっております。

【SPECIAL PROGRAM】
(申込不要・無料 ※立ち見有り)
○ミュージアムトーク：11月23日(日) 13:00～14:00
○特別講演：12月17日(土) 13:00～14:00

Timeline Photos - October 7th, 2016 at 12:16 PM

地域 25

[INFORMATION / 「しぶや探検！ー渋谷で日本の文化を知るー」ワークショップ告知]

「しぶや探検！ー渋谷で日本の文化を知るー」ワークショップのお知らせです。

今回、国立オリンピック記念青少年総合センターと國學院大學博物館が連携し、國學院大學博物館の企画展・特別展と連動して、日本の歴史や文化、芸術を体感する探検ワークショップを開催します。

全2回の内、10/29(土)の渋谷探検Ⅰ「渋谷の神社を見てみよう！」の申込を現在受付中です。(2017/01/21(土)に開催する渋谷探検Ⅱの申込受付については、受付を開始次第また告知いたします)

対象：渋谷区在住・在学・在勤の親子2名ペア20組40名
小学5・6年生対象
申込：事前申込制(先着：20組40名)

渋谷で日本文化を見つめなおす機会。ぜひ、ご応募ください！
※こちらのワークショップは先着制です。定員に達し次第申込を締め切らせていただきます。予めご了承ください。

Timeline Photos - October 9th, 2016 at 5:10 PM

29



[REPORT / 特集展示「折口信夫と『死者の書』」持田叙子講演会]

生誕130年記念特集展示「折口信夫と『死者の書』」の関連企画として、昨日、日本近代文学研究者であり、本学兼任講師の持田叙子講演会「鳥になり、花になり、愛を告げたいー死者の書ー」を開催いたしました。

持田講師が高校生の頃に折口の『死者の書』を読んで感銘を受けたという話を皮切りに、「すさまじい恋の小説」「究極の愛が書かれた小説」と形容する独自の視点から、折口の思想の核心に迫っていくお話に、100名ほどの参加者は聞き入っているようでした。

関連イベントはこれにて終了となりましたが、特集展示の会期は明日、10月10日(月・祝)までとなります。入館無料ですので、ぜひ、足をお運びください。

Timeline Photos - October 13th, 2016 at 9:14 PM

52

[INFORMATION / 神道展示室有職故実コーナー「舞楽図巻」巻き替え]

神道展示室有職故実コーナーに展示中の「舞楽図巻」[文政11(1828)年]を、10/15(土)より巻き替え展示いたします。同日、16時より本学で斎行されます、熊本震災復興祈願第7回「観月祭」にて上演される演目の内、「延喜楽」「賀殿急(かてんのきゅう)」の装束を着た舞人が描かれている箇所を公開いたします。観月祭は、渋谷キャンパス130周年記念5号館1階ピロティにて、平成28年10月15日(土)16時~18時まで。あわせてご覧ください。
*当日14時より整理券を配布します(1人1枚限り)。なくなり次第終了。開場時間15時15分より整理券番号順にお入りいただきます。整理券がなくても観覧はできますが、立ち見となる場合がございます。



Timeline Photos - October 21st, 2016 at 2:44 PM

32

[REPORT / 企画展「祭礼行列」映像展示のご紹介！]

企画展「祭礼行列」では、様々な映像も見所のひとつ。館内では3つのディスプレイでそれぞれ異なる映像を上映しています！絵巻の展示は一場面ですが、大きな画面で全場面を見ていただけます。「祇園祭礼絵巻」等5種の絵巻を上映していますので、ゆっくりご覧ください。祭礼絵巻の醍醐味ともいえる、流れる行列を楽しんでいただければ嬉しいです。



Timeline Photos - October 22nd, 2016 at 5:08 PM

29

[REPORT / 企画展「祭礼行列」ミュージアムトーク]

本日は、本学助教の鈴木聡子先生によるミュージアムトークが開催されました。「賀茂祭(葵祭)」をテーマに神の移動を伴わない人の行列について、様々な写真を用いて分かりやすく、解説していただきました。トークには、100名を超える参加者が集まり、会場は満員となりました。次回ミュージアムトークは下記の通りです。ぜひご参加ください。



Timeline Photos - October 15th, 2016 at 5:28 PM

44

[REPORT / ホームカミングデー & 企画展初日]



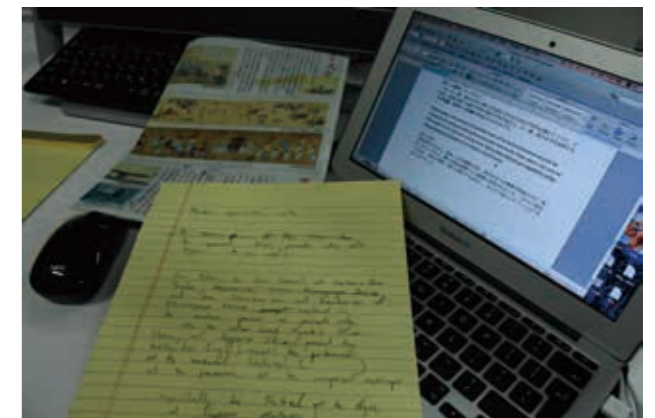
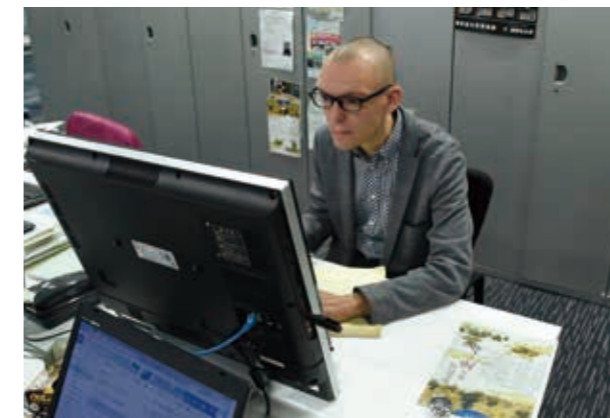
本日は、本学でホームカミングデーが開催されました。博物館では、本日よりスタートした企画展「祭礼行列ー渡る神と人ー」に関連して、2回のミュージアムトークを開催！大東准教授による解説は各回違うお話で、80名近い参加者が熱心に話に聞き入っていました。「付喪神記」を用いて「祭礼行列」の構成を紐解いたり、長野県での祭礼を取り上げたりとバラエティに富んだ内容で、最後には展示がより一層面白くなるポイントまで！企画展初日の本日は、じっくりと観覧される皆さんで展示室は大賑わいとなりました。本企画展のミュージアムトークは下記日程で今後も開催です！お見逃しなく！

【参加無料・予約不要】

- | | | |
|-------------------------|-------------------------|-------------------------|
| (1)「賀茂祭(葵祭)」 | (2)「祇園御霊会から札幌まつりへ」 | (3)「神輿と行列」 |
| 日時：10月22日(土)14:00~14:30 | 日時：10月29日(土)14:00~14:30 | 日時：11月12日(土)14:00~14:30 |
| 講師：鈴木聡子(本学助教) | 講師：大東敬明(本学准教授) | 講師：笹生衛(当館館長・本学教授) |

Timeline Photos - October 24th, 2016 at 12:01 PM

言語 61



[REPORT / 多言語化の取り組み]

文化庁支援事業で実施している当館の多言語化。外国の方に当館の展示を通して、日本の歴史や文化をより一層理解してもらえるよう、企画展の章解説やキャプションの英語化を進めています。今年度はアメリカ出身のDaniel Friedrichさんによって英訳作業が行われており、現在は開催中の企画展「祭礼行列ー渡る神と人ー」のリーフレットの翻訳作業が大詰めです。日本語も堪能な宗教分野の研究者であるDanielさんは、専門的な知識も生かし、的確な英文に仕上げられています。企画展リーフレットの英語版は、近日中に配架予定です。





[INFORMATION / 特集展示「インドの祈りと神々」開催]

明日より特集展示「インドの祈りと神々」を開催いたします！
本展示は「世界の宗教を知る」ワークショップと関連したもので、ヒンドゥー教だけではなく、インドの大地に根付く思想や哲学にふれていただける内容となっております。

この機会にぜひ他文化への理解も深めていただければと思います。

■会期：
10月29日(土)～12月6日(火)
※本展示は、博物館ホールの一角を使っの小規模展示です。

またワークショップ「第3回 ヨガで知るインドの信仰と哲学の世界」[11月19日(土)]の方は明日が締切となっております！ぜひご応募ください。



[INFORMATION / 「世界の宗教を知る」ワークショップ応募受付終了]

「世界の宗教を知る」ワークショップは、各回とも募集を締め切りました。たくさんのご応募、ありがとうございました！

ワークショップ関連企画のスペシャルプログラム、「ミュージアムトーク」「特別講演」は申込不要ですので、ご興味のある方は、ぜひご参加ください。

現在博物館では、企画展「祭礼行列一渡る神と人」、特集展示「インドの祈りと神々」も開催中です。こちらもあわせてご覧ください。



[INFORMATION / 企画展「祭礼行列一渡る神と人」 関連民俗誌映像「祭りに生きる 京都の鉾差し」上映のお知らせ]

企画展「祭礼行列一渡る神と人」では、大型スクリーンにて『京都剣鉾のまつり調査報告書～映像編～』より、短編映像のいくつかを常時上映しています。

今回は、上記報告書映像編の中から、日本における映像人類学の第一人者、大森康宏氏(国立民族学博物館名誉教授)製作・監修の長編の民俗誌映像「祭りに生きる京都の鉾差し」を下記の日程で上映いたします。

申込み不要、参加費無料です。当日、國學院大學博物館ホールまでお越しください。

※上映のみのイベントとなります。講師等による解説はございません。

※上記時間帯は、企画展期間中、國學院大學博物館ホールで上映している通常の映像はご覧いただけません。ご了承ください。

November 2016

- 企画展関連情報「山・鉾・屋台行事」ユネスコ無形文化遺産
 - 国際 海外博物館調査：イギリス出張
 - 体験 「世界の宗教を知る」ワークショップ第1回(神道)
 - 地域 しぶや探検 I 「渋谷の神社を見てみよう」
 - 体験 「世界の宗教を知る」ワークショップ第2回(キリスト教)
 - 体験 「世界の宗教を知る」ワークショップ第3回 (ヒンドゥー教)
 - 体験 「世界の宗教を知る」ワークショップ Special Program (イスラームと文化遺産)
- ...e.t.c.

295 likes

24 photos shared



November 2016

Timeline Photos - November 1st, 2016 at 1:46 PM

66

[INFORMATION / 「山・鉦・屋台行事」が、ユネスコ無形文化遺産に登録の見通し]

文化庁の発表によると、山車が登場する全国33の祭りを含む「山・鉦・屋台行事」が、世界の伝統文化などを保護するユネスコの無形文化遺産に登録される見通しとなりました。

現在開催中の当館企画展「祭礼行列ー渡る神と人ー」では、「山・鉦・屋台行事」の関連資料を展示中です。この機会に、ぜひご覧ください。入館無料です。



Timeline Photos - November 7th, 2016 at 4:19 PM

国際 32

[REPORT / 海外博物館調査：イギリス出張]

11月1日～8日の日程で海外での博物館調査が行われました。当館館長笹生衛教授をはじめ、教員・学芸員の3人でイギリスを視察。海外における日本展示の現状視察と多言語化の実態調査を行いました。また國學院大學研究開発推進機構と研究協定を締結しているセインズベリー日本藝術研究所を訪問し、同研究所の水鳥所長とも今後の方針についても打合せを行いました。

ノーリッジ周辺の宗教施設や遺跡を訪れたほか、ロンドン市内の展示施設（大英博物館・Victoria and Albert Museum・大英図書館・Museum of London等）を巡り、展示・公開技術と多言語化の状況について調査を行い、当館の運営に反映される多くの成果を得ることができた視察となりました。



Timeline Photos - November 9th, 2016 at 1:03 PM

地域 47

[REPORT / しぶや探検 I 「渋谷の神社を見てみよう！」開催]

10月29日(土)に、「しぶや探検！ー渋谷で日本の文化を知るー」ワークショップの第1回目として、しぶや探検I「渋谷の神社を見てみよう！」が開催されました。

当日、まず國學院大學博物館に集まった参加者は、神職でもある当館の網谷哲成学芸員より神社・神道に関するレクチャーを受けました。スライドで、神社の基礎知識や、午後の部で巡る渋谷の神社探検のポイント解説があり、さらに博物館の常設展と企画展「祭礼行列ー渡る神と人ー」を鑑賞し、参加者は神社・神道に関する知識を付けました。

午後は、本学神殿で参拝作法解説を受けた後、渋谷氷川神社へ出発。渋谷氷川神社には、明治通り側の表参道から入り、参道横の江戸郊外三大相撲であった「金王相撲跡」を見学。そして本殿で参拝した後、渋谷氷川神社の田村康雄宮司からお話を伺いました。続いて、バスに乗って鳩森八幡神社へ。鳩森八幡神社では本殿の参拝後、現存する都内最古の富士塚「千駄ヶ谷の富士塚」に登頂・参拝しました。探検した後は、網谷学芸員が参加者からの質問に答え、神道の知識を深めたところでワークショップを終了。鳩森八幡神社で解散となりました。

次回の平成29年1月21日(土)開催の渋谷探検II「芸術は爆発だ！ー渋谷で出会う岡本太郎と縄文ー」は、現在応募受付中です。岡本太郎と縄文の専門家の話をまじえ、渋谷の岡本太郎芸術を再発見・体感していくワークショップです。ご興味のある方は、ぜひご応募ください。

しぶや探検II

芸術は爆発だ！ー渋谷で出会う岡本太郎と縄文ー

日時：平成29(2017)年1月21日(土) 10:00～15:00

☆本ワークショップは、平成28年度文化庁の「地域の核となる美術館・歴史博物館支援事業」に採択された「東京・渋谷から日本の文化・こころを国際発信するミュージアム連携事業」の一環として、国立オリンピック記念青少年総合センターと國學院大學博物館が連携し、実施しました。



Timeline Photos - November 10th, 2016 at 6:06 PM

体験 37

[REPORT / 「世界の宗教を知る」ワークショップ第1回(神道)開催！]

11月6日(日)に國學院大學博物館主催の「世界の宗教を知る」ワークショップ Part.2 第1回「明治神宮で知る神道ー正式参拝の旅ー」を開催しました。今回のワークショップでは、明治神宮の夕御饗祭・正式参拝・祈願祭の参列を通して、神道の世界を体験しました。

当日、参加者は國學院大學博物館に集合し、12:30よりワークショップを開始。ワークショップの担当者である深澤太郎准教授の開会挨拶の後、網谷哲成学芸員によるミュージアムトーク(企画展「祭礼行列ー渡る神と人ー」の展示解説)が行われました。

企画展の展示を通して神道の「まつり」についての知識を深めた一行は、バスに乗り、明治神宮へ。明治神宮到着後は、神職の遠藤将弘権禰宜にご案内いただきました。奉獻酒の酒樽やワイン樽、菊花展、鳥居についてなど、いろいろなお説明いただきながら参道を進み、御本殿前に到着。そして、14:00より夕御饗祭に参列しました。大太鼓の号鼓の大きな音ではじまった夕御饗祭。御神前の厳かな雰囲気、皆さんどこか緊張した面持ちでした。

夕御饗祭の後には内拝殿で正式参拝し、神楽殿にて執り行われる祈願祭に参列しました。参列後は会議室に場所を移し、明治神宮国際神道文化研究所の今泉宜子主任研究員より、ご講話いただきました。「明治神宮ー100年の歴史に未来を学ぶー」というテーマでスライドを使用しながらのお話しは、わかりやすくも大変密度の濃い内容で、皆さん熱心に耳を傾けていました。

講話終了後、閉会の挨拶をし、16:00にワークショップを終了、現地解散となりました。普段はなかなか味わうことのできない、貴重な体験ができた一日でした。

本企画は、平成28年度文化庁の「地域の核となる美術館・歴史博物館支援事業」に採択された「東京・渋谷から日本の文化・こころを国際発信するミュージアム連携事業」の一環で実施いたしました。



Timeline Photos - November 13th, 2016 at 5:12 PM

体験 33

[REPORT / 「世界の宗教を知る」ワークショップ第2回(キリスト教)開催]

本日は、「世界の宗教を知る」ワークショップ第2回【渋谷で知るキリスト教ーキリストの教えと藝術ー】が開催されました。

素晴らしいお天気の中、朝から集合いただいた参加者の皆様とともに聖ドミニコカトリック渋谷教会へ。主任司祭の田中信明先生をはじめとする教会の皆様にご挨拶いただき、普段はなかなか味わうことのできない特別な体験をさせていただきました。美しいステンドグラスのもと、神聖な雰囲気の中で、実際の信者の皆様と同じようにミサに参加させていただきました。本当にありがとうございます。

教会訪問後は、博物館に戻り、西南学院大学博物館の内島美奈子学芸員によるミュージアムトーク。「アイコンにみるクリスマス」というテーマで、現在開催中の相互貸借特集展示「キリスト教信仰のかたち」の展示品解説をもとに、アイコンとはなにかという話からサンタクロースの起源まで、たくさんの興味深いお話をいただきました。

トークのあとは、LEDを使ったクリスマスキャンドルづくり体験。信仰における「火」や「明かり」の在り方について考えながら、皆さん熱心に作成されていました。

本ワークショップは、次回「ヨガで知るインド」で最後となりますが、関連イベントは下記のように開催予定です。ぜひご参加ください！お待ちしております。

【SPECIAL PROGRAM (申込不要・無料 ※立ち見有り)】

■ミュージアムトーク

11月23日(水・祝) 13:00～14:00

「イスラームと文化遺産

ーパキスタンにおける仏教遺跡の受容と保護ー

講師：ムハンマド・ザヒル

(パキスタン・ハザラ大学准教授)

会場：國學院大学博物館ホール

■特別講演

12月17日(土) 13:00～14:00

「世界の宗教が禁じてきたものーその信仰と戒律のなぜー」

講師：井上順孝(國學院大学教授)

会場：國學院大学博物館ホール



Timeline Photos - November 20th, 2016 at 5:52 PM

体験 33

[REPORT / 「世界の宗教を知る」ワークショップ第3回(ヒンドゥー教)開催]

昨日、「世界の宗教を知る」ワークショップ第3回【ヨガで知るインドーインドの信仰と哲学の世界ー】が開催されました。当館学芸員・陣内理良によるミュージアムトーク「インドの信仰と哲学の世界」では、インドの宗教や哲学からインド人の「いのり」について考える講義だけでなく、このワークショップに合わせて開催中の【特集展示】「インドの祈りと神々」の解説も行われました(特集展示は12月6日(火)まで)。

つづいて、会場を和室教室に移し、本場インドのヨガ指導者、アルン・クマール・ヴァガイ氏の指導による、ヨガ体験。普段疲れている心と体を癒すヨガを気軽に体験できたことや、体験後にリフレッシュした身心に喜ばれている参加者も多いようでした。

余談ですが、スタッフの1人は、リラックスを促すヨガの屍のポーズで、いびきをかいて眠ってしまいました。ヨガ体験のあとは、本場のひとくちチャイ。スパイシーな香りに、心はインドへ？！

体験ワークショップは、今回で最後となりますが、関連のSPECIAL PROGRAMもご用意しています。ぜひご参加ください！お待ちしております。



[REPORT / 「世界の宗教を知る」 Special Program イスラームと文化遺産]

11月23日(水・祝)「世界の宗教を知る」ワークショップのスペシャルプログラムが開催されました。今回は、パキスタンのハザーラ大学から准教授を招き、「イスラームと文化遺産ーパキスタンにおける仏教遺跡の受容と保護ー」というテーマで、1時間に渡って特別講演をしていただきました。

NPO法人南アジア文化遺産センターとの共催で行わせていただいた本イベントは、理事であり事務局長の野口淳先生にもその場で通訳をしていただき、参加者は現地のお話を聞くことができました。講師のムハンマド・ザヒル准教授は、自身はイスラーム教徒でありながら、考古学者、そして博物館学にも携わる先生で、宗教と文化遺産を特別な立場から分析された大変興味深いお話をいただきました。そもそもイスラーム教徒にとっての歴史認識についてのお話にはじまり、考古学という分野への捉え方や彼らの文化財や文化遺産に対する考え方など… そのお話は決して現地に行っても聞けない目から鱗の話ばかりでした。

また、パキスタンにある仏教関係の遺跡・遺物の多さに驚いたと同時に、イスラーム教徒の研究者や学生によりそれらがどのように保護・研究されているかというお話には大変感銘を受けました。参加者のほとんどの方がメモを取りながら熱心に聞きっていました。

またパキスタンからの研究者の皆さんは、宗教と博物館をどのように共存させているのか、当館にも大変興味を持ってくださいました。神道を軸に、宗教や日本人の文化をテーマとする当館にとっても大変、貴重で有意義な時間となりました。本ワークショップの関連イベントは残り下記1回となります。予約不要ですので、ぜひお越しください。

■特別講演

「世界の宗教が禁じてきたものーその信仰と戒律のなぜー」

日時：12月17日(土) 13:00～14:00 講師：井上順孝(國學院大學教授)



December

2016

- 企画展「祭礼行列」展示解説
- 特別展の展示作業
- 特別展「火焰型土器のデザインと機能」開催
- 国際縄文フォーラム火焰海道往来2016
&特別展ミュージアムトーク&縄文コンサート
- **国際** 国内博物館調査：滋賀出張
- **言語** Announcing the opening of a new special exhibition !
- **体験** 「世界の宗教を知る」ワークショップ 特別講演
- 特別展ミュージアムトーク
- NHK日曜アートシーンの撮影

…e.t.c.

641 likes

17 photos shared



December 2016

Timeline Photos - December 3rd, 2016 at 6:22 PM

[REPORT / 企画展「祭礼行列」展示解説]

「山・鉾・屋台」行事がユネスコ「無形文化遺産」に登録されたので、本企画展を担当した、本学准教授の大東敬明先生が企画展の展示解説を行いました。展示解説は明日も行います。まだ企画展をご覧になっていない方は、ぜひこの機会にご来館ください。

「展示解説」

日時：12月4日(日) ①14:00～14:30 ②16:00～16:30

なお、企画展「祭礼行列―渡る神と人―」は明日までの公開となります。



Timeline Photos - December 8th, 2016 at 7:49 PM



[REPORT / 特別展の展示作業、大詰め！]

昨日からの資料の搬入も終わり、特別展の展示作業がいよいよ大詰めを迎えました。新潟県立歴史博物館の方と共に、資料の配置やライティング、パネル・キャプションの位置など、入念に調整を行いました。

国宝・国指定重要文化財を含む26点もの火焰型土器が一挙に並んだ光景は、まさに壮観です。皆様にご覧いただける日が楽しみです。

特別展「火焰型土器のデザインと機能 Jomonosque Japan 2016」は12月10日(土)からの公開です。

会期：平成28年12月10日(土)～平成29年2月5日(日)

会場：國學院大學博物館企画展示室

Timeline Photos - December 9th, 2016 at 8:55 PM



[INFORMATION / 特別展「火焰型土器のデザインと機能」開催！]

12月10日(土)より特別展「火焰型土器のデザインと機能 Jomonosque Japan 2016」が始まります。本展覧会では、国宝・国指定重要文化財をはじめ火焰型土器26点を一挙公開します！

来館者アンケートにご協力頂いた方には、火焰型土器の魅力を詰め込んだ116ページ大充実の図録を進呈！ 図録はなくなり次第配布終了となりますので、お早めに！ 皆様のご来館をお待ちしております！

Timeline Photos - December 13th, 2016 at 12:47 PM



[REPORT / 国際縄文フォーラム火焰街道往来2016]

12月10日(土)、11日(日)の2日間にわたり、国際縄文フォーラム火焰街道往来2016「中期縄文土器の過剰なデザインと多様な第二の道具」が國學院大學常磐松ホールで開催されました。

本フォーラムは特別展「火焰型土器のデザインと機能 Jomonosque Japan 2016」[会期：平成28年12月10日(土)～平成29年2月5日(日)]の関連企画として実施されたものです。

1日目は谷口康浩本学文学部教授から「縄文人の心象世界と縄文土器」、河仁秀釜山近代歴史館(韓国)館長から「韓半島縄文土器文化の儀礼具と装身具」というテーマで、それぞれ基調講演が行われ、2日目は7名の研究者による報告討論と、小林達雄本学名誉教授による講話が行われました。

両日とも多くの方が聴講され、特別展の展示と合わせてご覧いただくことで、火焰土器の造詣をより一層深めていただけたようでした。

また本展示の初日の1日目には、「縄文コンサート」と題してエレキチェロ奏者である斎藤孝太郎氏の演奏会が催されました。斎藤氏作曲による演奏曲は、縄文文化をイメージしてつくられた上に、現代音楽のフルクサスの様に縄文土器の文様を譜面化し、そのコードをベースに奏でると言う独自の世界観を奏でていました。100名を超える来場者もその演奏に魅了され、終演時には熱い拍手が送られました。

Timeline Photos - December 14th, 2016 at 5:25 PM

国際 52

[REPORT / 国内博物館調査：滋賀出張]

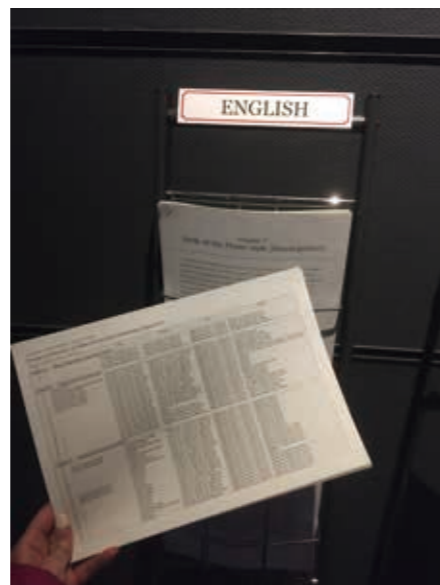
今回の調査では、国内博物館の外国人対応および多言語化の実態調査という目的に沿い、滋賀県内のいくつかの博物館について、視察に行ってきました。特に成果があったのは、滋賀県立琵琶湖博物館とMIHO MUSEUMで、両館でそれぞれ違った形で行っている多言語化の取り組みや外国人対応の実態を伺うことができました。

琵琶湖博物館ではユニバーサルデザインに基づく多言語化と、デジタル機器の使用について、リニューアル直後ということで、実際に館内を案内いただきながら非常に具体的な内容を聞くことができました。そして、MIHO MUSEUMでは、洗練された展示方法に圧倒されながらも、海外からの来館者誘致のための広報活動についても詳しくお話を伺うことができました。今後の当館での取り組みにぜひ活かしていきたいと思っております。



Timeline Photos - December 16th, 2016 at 1:55 PM

言語 72



[INFORMATION / Announcing the opening of a new special exhibition!]

The Kokugakuin University Museum is pleased to announce the special exhibition "The Design and Function of Flame Style Pottery: Jomonese Japan 2016," opened on December 12, 2016. Flame style pottery from Japan's Jōmon era, has a distinctive design not found anywhere else in the world. The name "Flame Style Pottery," comes from protrusions, which appear to be in the shape of leaping flames. Among Jōmon era earthenware, this style is particularly distinctive. The energy of these pots will most certainly delight! As part of this exhibition, twenty-six pots declared as national treasures from Niigata prefecture are on display. This exhibition at our museum in Tokyo, is the first time these Flame Style pots have been shown outside of Niigata. Please come and enjoy this exhibition of history and art. The entire exhibition has English language explanations.

Timeline Photos - December 16th, 2016 at 4:47 PM

体験 45

[INFORMATION /

12/17 (土) ミュージアムトークのお知らせ]

「世界の宗教を知る」ワークショップの特別講演と、特別展の展示解説が行われます。

(1) 13:00～14:00 「世界の宗教が禁じてきたもの—その信仰と戒律のなぜ—」

「世界の宗教を知る」ワークショップ Part.2のプログラムとして、今回は「世界の宗教が禁じてきたもの—その信仰と戒律のなぜ—」というテーマで、本学教授の井上順孝先生にご講演いただきます。キリスト教、ユダヤ教、イスラム教、仏教、ヒンドゥー教…入り交じる現代社会において、異なった宗教文化をもつ人々との相互理解を深めるために、今考えるべき「宗教の謎」に迫ります。

日時：12月17日(土) 13:00～14:00

会場：國學院大學博物館ホール

講師：井上順孝(國學院大學教授)

(2) 15:00～16:00 特別展「展示解説」

十日町市博物館の石原正敏氏を講師にお招きし、現在開催中の特別展「火焰型土器のデザインと機能 Jomonese Japan 2016」の展示解説を行います。

日時：12月17日(土) 15:00～16:00

会場：國學院大學博物館ホール

講師：石原正敏(十日町市博物館)

どちらも申込不要・無料です。参加をご希望の方は、当日、時間になりましたら博物館ホールにお集りください。



Timeline Photos - December 17th, 2016 at 6:08 PM

体験 17

[REPORT / 「世界の宗教を知る」ワークショップ 特別講演を開催!]

本日12月17日(土)「世界の宗教を知る」ワークショップ Part.2のラストプログラムとして、本学教授の井上順孝先生による特別講演が博物館で開催されました。

「世界の宗教が禁じてきたもの—その信仰と戒律のなぜ—」というテーマで、諸宗教の珍しい戒律や、人々に戒律と思われていない戒律、そもそもなぜ戒律はあるのかなど、世界の宗教を理解する上で知っておくべき「戒律」について、ポイントを示しながら詳しく解説されました。本日の講演をもちまして、「世界の宗教を知る」ワークショップ Part.2のプログラムはすべて終了しました。当館の展示と連動して、世界と日本の宗教を体験・実感する本ワークショップ。今年度も多くの方にご参加いただきました。本ワークショップでの体験をきっかけに、今後も異文化に対する理解と関心をより一層深めていただければ幸いです。

◎本ワークショップは、平成28年度文化庁の「地域の核となる美術館・歴史博物館支援事業」に採択された「東京・渋谷から日本の文化・こころを国際発信するミュージアム連携事業」の一環で実施いたしました。





[REPORT / 特別展ミュージアムトーク]

現在開催中の特別展「火焰型土器のデザインと機能 Jomonosque Japan 2016」のミュージアムトーク第1弾が、12月17日(土)に行われました。今回は、十日町市博物館の石原正敏氏をお招きし、特別展の展示についてご解説いただきました。

『「なんだ、コレは！」信濃川流域の火焰型土器と雪国の文化』の日本遺産認定までの経緯や、火焰型土器の定義等を紹介した後、展示室へ移動。火焰型土器をはじめ、特別展の展示資料を1点1点詳しく解説されました。

次回の特別展ミュージアムトークの第2弾は1月21日(土)に行います。ミュージアムトーク終了後はエレキチェロ奏者の齋藤孝太郎氏による縄文コンサートもあります。ぜひ皆様ご参加ください。

■ミュージアムトーク

日時：1月21日(土) 13:30～15:30

講師：佐藤雅一(津南町教育委員会)

齋藤孝太郎(エレキチェロ奏者)

(トーク終了後、縄文コンサート)

[INFORMATION / 1/15(日) 日曜美術館アートシーン放送]

現在開催中の当館特別展「火焰型土器のデザインと機能 Jomonosque Japan 2016」が、NHK日曜美術館アートシーンで紹介されます。放送は、2017年1月15日(日)午前9時45分以降の予定です。

内容は、展示中の国宝や国指定重要文化財の火焰型土器の紹介や、小林達雄名誉教授のインタビューなど。ぜひ、ご覧ください。



January 2017

- 新年開館のお知らせ
- NHK日曜アートシーンでの紹介
- **地域** しぶや探検Ⅱ「渋谷で出会う岡本太郎と縄文」
- 特別展図録頒布終了のお知らせ
- **国際** 日仏会館・東洋文庫・國學院大學共催ワークショップ開催
- 特別展ミュージアムトーク
- 来館者150000人達成!!
- 大阪歴史博物館シンポジウム「ミュージアムの多言語化と国際発信」

...e.t.c.

471 likes

16 photos shared



Timeline Photos - January 22nd, 2017 at 11:31 PM

39



[INFORMATION / 特別展図録、配布終了のお知らせ]

特別展「火焰型土器のデザインと機能 Jomoneseque Japan 2016」の図録配布について、好評につき予定部数に達しました。平成29年1月21日(土)をもって特別展図録の配布を終了といたします。

なお、特別展「火焰型土器のデザインと機能 Jomoneseque Japan 2016」は引き続きお楽しみいただけます[会期：2月5日(日)まで]。みなさまのご来館を心よりお待ちしております。

☆アンケートにお答えいただいた方には粗品として、オリジナルカレンダーまたはブックレットを差し上げております。

特別展「火焰型土器のデザインと機能 Jomoneseque Japan 2016」

会期：平成28年12月10日(土)～平成29年2月5日(日)

会場：國學院大學博物館企画展示室

January 2017

Timeline Photos - January 6th, 2017 at 12:39 PM

49

[INFORMATION / 新年開館は明日より!]

当館は、明日、1月7日(土)より開館いたします。特別展「火焰型土器のデザインと機能」は2月5日(日)まで。

アンケートにお答えくださった方へ無料進呈中の特別展図録は、減りつつありますが、まだ残部はあります。

また、1/15にNHK日曜美術館アートシーンにて、特別展が紹介される予定です。



Timeline Photos - January 14th, 2017 at 6:50 PM

58

[INFORMATION /

明日1/15(日)日曜美術館アートシーン放送]

明日放送のNHK日曜美術館アートシーンで、現在開催中の当館特別展「火焰型土器のデザインと機能 Jomoneseque Japan 2016」が紹介されます。

1月15日(日)午前9時45分以降の放送予定です。再放送は、同日夜、午後8時45分以降の予定です。ぜひ、ご覧ください。

なお、朝の放送後は、開館しております。ご来館をお待ちしております。入館無料です。

Timeline Photos - January 22nd, 2017 at 2:51 PM

49

[REPORT / 特別展ミュージアムトーク&縄文コンサート]

1月21日(土)13:30より、特別展「火焰型土器のデザインと機能 Jomoneseque Japan 2016」関連企画として、ミュージアムトーク&縄文コンサートを開催しました。

第1部は、津南町教育委員会の佐藤信之さんによるミュージアムトーク。「雪国の縄文文化と火焰型土器文化」というテーマで、特別展の展示資料についてご解説いただきました。

第2部は、エレキチェロ奏者の齋藤孝太郎さんによる縄文コンサート。火焰型土器の文様を楽譜に起こして作曲したという、昨年12月10日のコンサートでも演奏された「自然への祈り」「夜」「狩猟」の3曲に加え、勝坂式土器の文様を音に置き換え作曲した新曲も披露され、さらにアンコール曲も演奏されました。楽しい楽曲解説と、エレキチェロによる素晴らしい演奏に、会場からは大きな拍手が沸き起こりました。

当日は立ち見も含め、200人を超える参加者が訪れ、コンサート終了後も非常に多くの方が展示を鑑賞されていました。

次回ミュージアムトークは1月28日(土)13:30～14:30に開催されます。ぜひ皆様ご参加ください。

■特別展「火焰型土器のデザインと機能 Jomoneseque Japan 2016」ミュージアムトーク

日時：1月28日(土) 13:30～14:30

講師：小熊博史(長岡市立科学博物館)



Timeline Photos - January 22nd, 2017 at 8:08 PM

12

[INFORMATION / 特別展関連トークイベントのご案内@青山ブックセンター]

国立科学博物館「世界遺産 ラスコウ展」×國學院大學博物館「火焰型土器のデザインと機能」展開催記念として、青山ブックセンター本店にて、トークイベントが開催されます。

ラスコウ展監修者の海部陽介さん(国立科学博物館)、石井匠(当館学芸員)、モデレーターとして美術ライターの橋本麻里さんが登壇いたします。まだ、若干お席に余裕があるそうです。

日程：2017年1月26日(木)

時間：19:00～21:00

料金：1,944円(税込)

定員：110名様

Timeline Photos - January 23rd, 2017 at 1:02 PM

地域 33

[REPORT / しぶや探検！ II 「芸術は爆発だ！～渋谷で出会う岡本太郎と縄文～」]

1月21日(土)、午前10時30分から、渋谷に関心のある小学3年生から大人までを対象としたワークショップしぶや探検！ II 「芸術は爆発だ！～渋谷で出会う岡本太郎と縄文～」が開催されました。

これは、平成28年度文化庁の「地域の核となる美術館・歴史博物館支援事業」に採択された「東京・渋谷から日本の文化・こころを国際発信するミュージアム連携事業」の一環で実施されたもので、國學院大學博物館と国立オリンピック記念青少年総合センターの主催で催されました。

國學院大學博物館に集まった参加者25名は、まず國學院大學博物館石井匠学芸員による岡本太郎と縄文に関するレクチャーを受けました。火焰型土器に代表される縄文土器は、煮炊き用の鍋であったこと。土器が人々の食生活を豊かにしたこと。縄文の美の発見者といわれる岡本太郎と縄文土器の出会いについて、解説を受けました。

記念撮影と昼食を挟んで午後は、バスで移動しながら、渋谷にある遺跡や地形、岡本太郎の作品などの説明を受けました。最初に、岡本太郎が実際に生活した場所である岡本太郎記念館を訪問し、制作時の様子などを交えて解説を受けました。

その後、渋谷駅で「明日の神話」、NHKスタジオパークで「天に舞う」の巨大壁画を鑑賞し、午後2時50分頃、参加者・スタッフともNHKスタジオパークで解散となりました。

石井学芸員は、岡本太郎記念館の客員研究員も勤め、縄文土器と岡本太郎の研究の第一人者でもあります。メキシコでばらばらに壊れた状態で発見された「明日の神話」を修復する際、考古学の発掘調査技術が役に立った逸話など、巧みなトークに参加者は引き込まれていました。



Timeline Photos - January 27th, 2017 at 5:13 PM

国際 52



[REPORT / 日仏会館・國學院大學・東洋文庫共催ワークショップ開催]

1月26日(金)の18:00より、國學院大學渋谷キャンパス 学術メディアセンター5F会議室06にて、2016年度日仏会館・國學院大學・東洋文庫共催ワークショップ「文人から学者へー 歩く・集める・記す」の第3回目が開催されました。

今回は、東京学芸大学教授の石井正己先生から「遊歴文人と民俗学ー菅江真澄と柳田国男」というテーマで、国立歴史民俗博物館名誉教授の福田アジオ先生から「継承する民俗学者・否定する民俗学者」というテーマで、それぞれご講演いただきました。

講演の後は質疑応答の時間が設けられ、それぞれのテーマについて、活発な議論が行われました。

◎本ワークショップは、平成28年度文化庁の「地域の核となる美術館・歴史博物館支援事業」に採択された「東京・渋谷から日本の文化・こころを国際発信するミュージアム連携事業」の一環で実施しました。

Timeline Photos - January 28th, 2017 at 8:14 PM

43

[REPORT / 特別展ミュージアムトーク]

本日、特別展「火焰型土器のデザインと機能 Jomoneseque Japan 2016」ミュージアムトークを開催しました。

今回は、小熊博史氏(長岡市立科学博物館・長岡市馬高縄文館館長)にお越しいただき、「越後長岡・火焰土器の話～最近の話題から」と題し、ご当地の「火焰土器」の発見や命名に関する逸話や、火焰型土器の美術品としての魅力、日本遺産認定に関わる岡本太郎と火焰土器、火焰土器を来る2020年東京オリンピック・パラリンピック競技会の聖火台へ！など、火焰土器・火焰型土器にまつわる多様なテーマでご講演いただきました。

小熊氏の解説後、200名を超える参加者のみなさまは、特別展と常設展の火焰型土器や土偶、石棒等をじっくりと鑑賞されていました。

次回ミュージアムトークは、会期終了前日となる2月4日(土)13:30より開催いたします。本特別展をキュレーションされた宮尾亨氏(新潟県立歴史博物館)が登場いたします。入館・参加費無料、申込不要です。ぜひ皆様ご参加ください。

※なお、お席には限りがございます。満席の際は、立ち見でのご参加となりますこと、あらかじめご了承ください。

■特別展ミュージアムトーク

日時：2月4日(土)13:30～14:30

講師：宮尾亨(新潟県立歴史博物館) 会場：当館内ホール



Timeline Photos - January 30th, 2017 at 1:57 PM

91

[REPORT / 来館者 150000 人達成!!!]

本日、当館は「國學院大學博物館」となってから、来館者数が 150000 人に達しました！

150000 人目にあられた来館者の方に、サプライズでセレモニーを開催！本学のマスコットキャラクターであるこくびんがお出迎えし、記念品の贈呈などが行われました。

150000 人目となられた方は、京都から現在開催中の特別展「火焰型土器のデザインと機能」をご覧になるためにいらして下さったとのこと！記念として、学芸員による特別解説とともに展示をご覧になっていただきました。

國學院大學博物館は、今後ともより多くの方に日本の文化や歴史を伝える魅力的な博物館であれるよう頑張っておりたいと思います。これからも、どうぞよろしくお願いたします！



Timeline Photos - January 31st, 2017 at 5:35 PM

言語 45

[REPORT / シンポジウム「ミュージアムの多言語化と国際発信」@大阪歴史博物館]

今月 27 日、大阪で行われたシンポジウムに当館学芸員の陣内が参加。文化庁の支援事業で行われた國學院大學博物館での多言語化の取り組みについて、報告とディスカッションを行ってきました。

シンポジウムでは、それぞれの館の報告のほか、「ミュージアムアドバイザーによる」の実態調査の報告なども行われ、これからのミュージアムに求められる多言語化・国際発信の在り方について活発な議論が行われました。日本文化研究の拠点として、当館も海外からの来館者への発信力を高められるよう引き続き様々な取り組みを行っていきたいと思います！



February

2017

- 特別展最終日&ミュージアムトーク
- **体験** 特別支援学校 触察イベント
- 企画展「祭祀と神話—神道入門—」
- シンポジウム「伊勢神宮と齋宮」開催
- **体験** 海外博物館調査：アメリカ出張

…e.t.c.

371 likes

15 photos shared



February 2017

Timeline Photos - February 6th, 2017 at 3:10 PM

55

[REPORT / 特別展「火焰型土器のデザインと機能」最終日&ミュージアムトーク]

本日は特別展「火焰型土器のデザインと機能」の最終日となりました。平日にも関わらず来館者が300人を超える日も多い大人気の企画展でしたが、本日で最後となり館内は終日たくさんの方で賑わいました。本日は新潟歴史博物館より宮尾学芸員によるミュージアムトークも開催され、「火焰土器の作り方」という誰もが夢中となるようなトークを展開。トーク終了後は、多くの方が宮尾学芸員のもとに集まっていました。今回のように、火焰型土器が新潟県より一同に揃うことは初めてのことで、国宝を含む、大迫力の土器の連続に来館者の方は熱心に見入っていました。今回は、火焰型土器、縄文人の精神性に多くの方が心を奪われた展示となったようです。



Timeline Photos - February 10th, 2017 at 7:23 PM

128

[INFORMATION / 新企画展「祭祀と神話—神道入門—」が明日より開催]

明日2月11日より新しい企画展がスタートします。本展示は、天皇・朝廷、伊勢の神宮、神社の〈祭祀〉、古代・中世の〈神話〉とはどのようなものであったか、それら〈祭祀〉と〈神話〉は、どのように関わるのかなどを國學院大學所蔵の古典籍や史料を通して紹介します。鎌倉時代に書き写された貴重な『日本書紀』なども展示(3/12まで)。会期は4月9日(日)まで!ぜひ足をお運びください。



Timeline Photos - February 10th, 2017 at 5:55 PM

74

[REPORT / 特別支援学校の皆さんへ向けての博物館見学・触察イベント]

本日、筑波大学附属特別支援学校の皆さんが当館を訪れ、博物館見学・触察のイベントが行われました。視覚障がいのある生徒さんたちに、いかにして博物館を楽しみ学んでもらうか、本イベントは、当館としても初めての試みです。この度、当館の考古学の解説シートを初めて点字に翻訳。事前にその点字解説をお送りし、皆さんには予習をさせていただきました。

本イベントのテーマは「考古学と博物館展示の実際」。高等部のみなさんには、考古遺物を解説とともに実触してもらいました。実際に発掘調査に使われる道具を触察して、考古学者から生のお話を聞くブースと、「ホンモノ」の土器や土偶などに触りながら、古代の人々の暮らしに思いを馳せるブースの2つに分かれて体験していただきました。

今後の博物館における障がいのある方へ向けた鑑賞支援の充実に向けて、非常に重要なイベントとなりました。



Timeline Photos - February 11th, 2017 at 6:47 PM

69

[REPORT / 斎宮歴史博物館共同シンポジウム「伊勢神宮と斎宮」開催]

本日、企画展の初日とあわせ、斎宮歴史博物館・國學院大學博物館共同シンポジウム「伊勢神宮と斎宮」in 東京・渋谷が開催されました。なんと常磐松ホールが満員となる約300人の参加者が集いました。

まず基調講演として、斎宮歴史博物館調査研究課の穂積裕昌主幹から「伊勢神宮成立論と考古学」と題して、神域として発掘調査が厳禁の中でもこれまで表探等で収集されてきた資料や近隣の発掘調査結果等から伊勢神宮の成立についてお話をいただきました。

そして、本学神道文化学部の岡田莊司教授から「斎王とは何か?-古代天皇祭祀の一視点-」と題し、文献史料から斎王について。続いて斎宮歴史博物館調査研究課の大川勝宏課長から「斎宮跡の発掘と解明」と題し、長きに渡って行われている斎宮の考古学調査の結果を中心に、現在まで解ってきた斎宮についてのお話がありました。

最後は、当館館長の笹生衛教授をコーディネーターに、ディスカッションが行われ、相互の研究補完の必要性を指摘。特に伊勢神宮や斎宮の確立までの空白期を如何に埋めていくのか、興味深い話に触れていました。最後はそれぞれの課題に触れながら、日本国家成立期の解明に大きな影響を与えることを示唆しながらシンポジウムは閉会しました。



[REPORT / 海外博物館調査：アメリカ出張]

昨年11月に行ったイギリスの博物館調査に引き続き、平成29年2月5日(日)～11日(土)にかけて、アメリカの博物館調査を行いました。

今回の調査では、ワシントン(国立アメリカ歴史博物館をはじめとするスミソニアン博物館群、ニュージウム、ホロコースト記念博物館など)と、ニューヨーク(メトロポリタン美術館、国立自然史博物館、ニューヨーク近代美術館、9/11メモリアルなど)の展示施設を訪問しました。多言語のパンフレット・ガイドの配布やFree Wi-Fiと共に展示鑑賞の補助を目的としたスマートフォンアプリの配信を行っている館が数多くあり、展示の内容や手法のみならず、多言語化の取り組みや最新設備の導入事例など、アメリカの展示施設の現況について詳しく調査することができました。



昨年度末に掲載できなかった事業報告です

January – March

January

2016

- 企画展展示替え
- 企画展ミュージアムトーク
- ワークショップ「妖怪絵巻をつくろう！」開催
- 子ども妖怪絵巻の展示

…e.t.c

217 likes

6 photos shared



January 2016

Timeline Photos - January 7th, 2016 at 5:20 PM

65

[INFORMATION / 明日より開館です！本日展示替え]

あけましておめでとうございます。國學院大學博物館は、明日より開館となります！

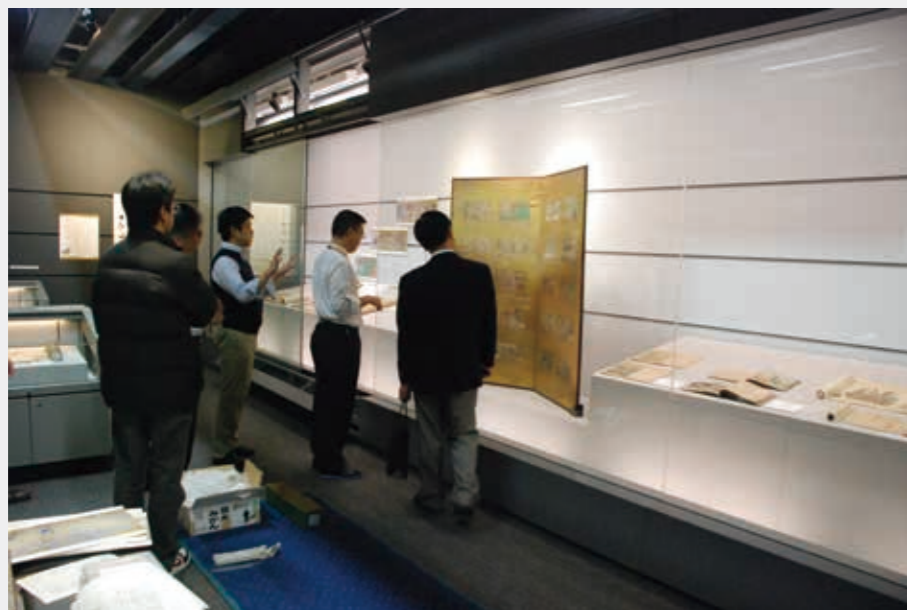
本日は、開催中の企画展「神仏・異類・人・奈良絵本・絵巻みる怪異」の後期展示の準備が行われました。多くの資料が場面替え、また前期ではお見せしていない資料の公開など、本年より新しい内容となっております。卷子本や冊子本だけでなく、後期は屏風の展示も！前期とは、また違う印象の展示をご覧ください。

早速、今週末にはミュージアムトークも行われます。ぜひ足をお運びください。

■ミュージアムトーク

1月9日(土) 12:30～13:00

講師：荒木優也(國學院大學文学部兼任講師)



Timeline Photos - January 9th, 2016 at 10:48 PM

43

[REPORT / 1月9日企画展「神仏・異類・人」ミュージアムトーク開催]

本日、12:30より、企画展「神仏・異類・人・奈良絵本・絵巻みる怪異」ミュージアムトークを開催しました。

今回は、1月8日(金)から始まった企画展の後期展示について、本学文学部兼任講師である荒木優也先生に解説いただきました。

『源氏物語』の「絵合」巻の中で、「物語の出で来はじめの親」とされる『竹取物語』は、平安時代前期頃に成立したと考えられ、本文の一部(古筆切)が残っているのは鎌倉時代後期以降であること、完本として確認されている最も古いものは、元龜元年(1570)に書かれたと考えられるものであることを挙げ、江戸時代前期に作成された絵巻も重要な伝本となっていることを解説しました。『竹取物語』の絵巻は、現在世界に20数本確認されており、その内の3本が國學院大學図書館に所蔵されています。

絵巻の装訂についても解説し、最も古い形態である卷子本は、権威のある装訂であると考えられ、冊子本をわざわざ卷子本に装訂し直すということもあったということ、当時も権威あるもの、豪華なものとして、調度品や贈答品として作成されたことなどを紹介しました。また、卷子本は、ある部分が見たい場合にはそこまで開かなければならず、巻くのも面倒であったため、簡単に取り扱える折本が生まれ、さらに折本の片側を留めることで、冊子本が生まれていったことなど、絵巻の装訂の歴史についても説明しました。

さらに、『酒吞童子』『羅生門』『道成寺縁起』など、後期展示の作品について、あらすじや見どころなどを交えながら、詳しく解説していきました。

ミュージアムトーク終了後、参加者の皆様には荒木先生の解説を参考に、改めてじっくりと展示をご覧いただいたようでした。次回のミュージアムトークは1月23日(土)12:30～13:00 本学研究開発推進機構の大東敬明准教授による、本企画展の展示解説となります。参加費無料、予約不要です。

本日の展示解説とは違った切り口の解説となりますので、ぜひ皆様の参加をお待ちしております。

Timeline Photos - January 23rd, 2016 at 4:38 PM

28

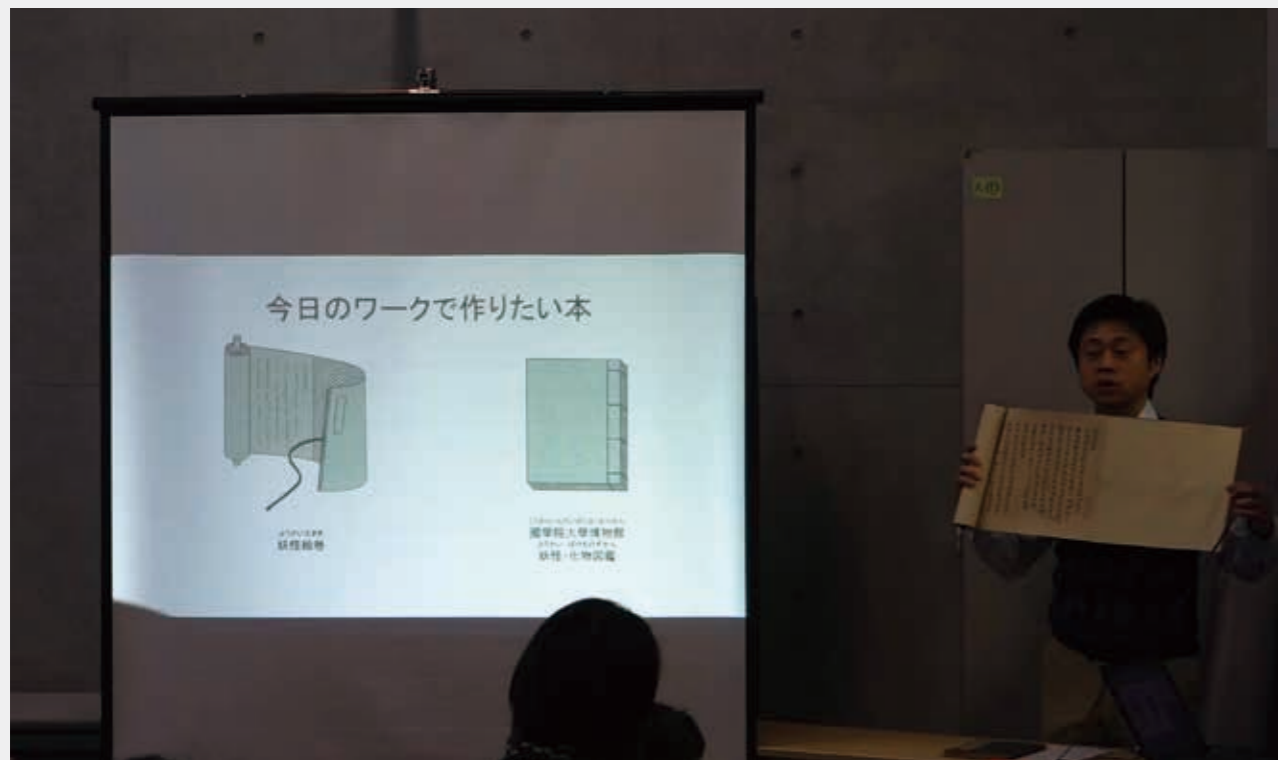


[INFORMATION / 本日のミュージアムトーク]

本日、12:30より企画展「神仏・異類・人・奈良絵本・絵巻みる怪異」の最後のミュージアムトークが開催されました。今回は、展示中の『付喪神記』について、本学研究開発推進機構の大東敬明先生に解説いただきました。

『付喪神記』には、妖物となった道具たちが、変化大明神の社をつくり祭祀・祭礼を行う場面があります。この場面を他の祭祀・祭礼を描いた絵巻物や、現在、春日大社をはじめ、近畿地方の神社で行われている祭礼と比較しつつ読み解いていきました。妖物たちの行列は、変化大明神の祭礼行列であることや、他の祭礼絵巻や現在のおまつりとも共通点があることに、集まった多くの参加者は興味深く聞き入っていました。

今回の企画展のミュージアムトークは本日で最後となりますが、26日(火)からは、場面替えを行った、新しい場面をご覧ください。妖怪たちを見れる期間もあとわずかです！ぜひ足をお運びください。



[REPORT / ワークショップ「妖怪絵巻を作ろう！」開催]

本日、午前と午後の2回にわたり、ワークショップ「妖怪絵巻を作ろう！」を開催しました。このワークショップは、現在当館で開催中の企画展「神仏・異類・人」の関連イベントとして、小学生以下の子ども達を対象に行われました。

國學院大學博物館に集合し、受付を済ませた子ども達に『國學院大學 妖怪・化物図鑑』を進呈。ワークショップがはじまるまで、図鑑を見ながら博物館を見学してもらいました。時間になると、子ども達は博物館のワークショップスペースに集合し、渡邊卓先生（本学研究開発推進機構助教）によるレクチャーを受けました。

渡邊先生はまず、〔怪異〕について説明し、〔怪異〕という大きなくりの中に妖怪や化物などがあるということを解説しました。次に、博物館に展示されている妖怪の絵巻物には「卷子本」や「冊子本」という種類があるということを紹介。実物を見てもらい、日本の古い本の形について学びました。

「この妖怪は、もともと何の道具が妖怪になったのでしょうか？」とクイズ形式で先生が尋ねると、子供たちは元気よく手を挙げ、答えていました。今回、ワークショップでは、子ども達に自分で考えたオリジナル妖怪のイラストを描いてもらいました。先生のレクチャーを受けた子ども達は、創意工夫を凝らして、カラフルなオリジナル妖怪のイラストを、生き活きと描いていました。描き上げたイラストは、進呈した『國學院大學 妖怪・化物図鑑』に張り付け、妖怪の名前と、どんな妖怪なのか説明文を図鑑に書き入れました。さらに図鑑の表紙には『國學院大學 妖怪・化物図鑑』と書かれた題簽のシールを貼り、奥付には妖怪を作画した人のサインを書き入れます。子ども達には、世界に一冊だけの妖怪図鑑を作ってもらいました。

子ども達が考えたオリジナル妖怪は、後日一同にまとめて巻物に仕立て、下記の期間、博物館にて展示します。ぜひ、子ども達が考えたオリジナル妖怪をご覧ください。

妖怪絵巻展示期間：1月28日（木）～2月7日（日）

[REPORT / 子ども妖怪絵巻の展示]

先日行われたワークショップ「妖怪絵巻を作ろう！」の成果である絵巻物が完成！本日から展示されています。ワークショップで子ども達一人一人が考えた「オリジナル妖怪」が本格的な巻物となりました。

実際の巻物と同じ装丁が施された全長5mの絵巻物が博物館に登場です！それぞれの妖怪には名前がつけられ大人も驚く秀逸な妖怪たちが並んでいます。ぜひご覧ください。

本企画展「神仏・異類・人—奈良絵本・絵巻見る怪異—」は、2月7日（火）までとなっています。皆さまのお越しをお待ちしております。



昨年度末に掲載できなかった事業報告です

January – March

February

2016

- 企画展「花鳥風月～柄鏡の美～」開催
- 企画展ミュージアムトーク
- 特集展示「おひなさま」の展示
- 西南学院大学相互貸借展示「天神人形」
- 魔鏡の展示
- 特集展示「穂高古墳群 F9号墳—考古学実習速報展—」
- 『大嘗会御神殿絵図』 修補完了

...e.t.c

498 likes

10 photos shared



February 2016

Timeline Photos - February 10th, 2016 at 8:41 PM

[INFORMATION / 新しい企画展がスタート]

明日より新企画展「花鳥風月～柄鏡の美」が始まります！前回の企画展とは打って変わって大人の雰囲気。皆さんに近世金工の「粋」、柄鏡の魅力をお伝えします。

多くの柄鏡を一挙に公開したほか、展示室内では、体験コーナーやスピンオフ企画「魔鏡」の投影もっており、狭いなかでも充実した展示を試みました。

会期は3月13(日)までです！ぜひ足をお運びください。



91

Timeline Photos - February 13th, 2016 at 3:11 PM

[REPORT / 企画展「花鳥風月～柄鏡の美」ミュージアムトーク]

本日14時より、企画展「花鳥風月～柄鏡の美」の展示を担当した内川隆志教授によるミュージアムトークが開かれました。

弥生時代の鏡出現の話から、柄鏡が出現するまでの鏡の変遷過程。展示品の柄鏡に描かれる花鳥風月の文様の読みとき、鏡のつくりかたや特別列品中の魔鏡の仕組みなど、さまざまな角度から、柄鏡の観方を丁寧に説明してくださいました。

次回ミュージアムトークは、来月、3月5日(土)14:00～14:30となります。



81

Timeline Photos - February 16th, 2016 at 4:19 PM

[REPORT / 西南学院大学相互貸借特集展示Ⅶ「天神人形」展示作業]

当館と協定を結んでいる西南学院大学博物館(福岡県福岡市)にて、当館資料の展示を行いました。お互いの大学が所蔵する資料を相互に展示し合う「相互貸借特集展示」の第7弾！

今回は「天神人形～各地の天神さま～」というテーマで、本学が所蔵する天神人形(宮地直一旧蔵)を紹介します。会期は5月25日(水)まで。

学問の神様として親しまれる菅原道真公は「天神さま」とも称されて、絵で描かれるだけでなく、全国各地で民具として天神人形が作られ、親しまれてきました。ぜひ本展示を通して、天神信仰の一端に触れてみてください。

※本展示は福岡県福岡市に所在する西南学院大学博物館でご覧いただけます。なお、東京の国学院大学博物館では特集展示「天神さま」や常設展にて天神人形を展示しています。東京にお立ちの際にはぜひそちらもあわせてご覧ください！

相互貸借特集展示Ⅶ

「天神人形～各地の天神さま～」

会期：2016年2月15日(月)～5月25日(水)

会場：西南学院大学博物館(福岡県福岡市)



51

Timeline Photos - February 19th, 2016 at 7:03 PM

37



Timeline Photos - February 21st, 2016 at 5:51 PM

[INFORMATION / おひなさまの展示]

桃の節句が近づいてきましたね。
博物館でも、おひな様展示はじめました。可愛らしく、雅な姿をぜひご覧になってください。館内がパッと明るくなり、なんだか春の訪れを感じます。お子様も大歓迎です！

Timeline Photos - February 22nd, 2016 at 12:23 PM

99



[INFORMATION / 魔鏡の展示！]

「柄鏡の美」展では、スピンオフ企画として「魔鏡」の特別公開を行っています。
魔鏡とは…鏡面に光を反射させると、普段は見えない模様が浮き上がってくる…という不思議な鏡です。今回の展示では、そんな魔鏡を実際に投影中！！はっきりと隠された模様が写しだされています。投影される仕組みも分かりやすく解説。
ぜひ一度ご覧になってはいかがでしょうか？もちろん当館は入館無料。
明日から会期中休まず開館しています。

Timeline Photos - February 26th, 2016 at 1:02 PM

86

[INFORMATION /

特集展示
「穂高古墳群 F9号墳—考古学実習速報展—」]

今日から、博物館ホールにて、特集展示「穂高古墳群 F9号墳—考古学実習速報展—」[会期：2月26日(金)～5月7日(土)]が始まりました。本学の考古学研究室では、学部・大学院による「考古学調査法」の一環として、平成21(2009)年度から吉田恵二教授(当館前館長)を担当者とする穂高古墳群F9号墳の学術調査を開始し、中信地方における古墳時代から古代への社会的動向を検討しています。

これまでの調査では、全長約7mの横穴式石室から、金環・勾玉などの装身具や、6世紀末から7世紀中頃の鉄鏃・直刀・馬具・土師器のほか、8世紀前半代の須恵器などが出土しました。出土資料に時期差があることから、初葬時から古墳の役割を終えるまでに、100年ものあいだ祖霊祭祀の場として機能したことがわかります。

本学の学生たちが、考古学実習で自ら発掘・展示した出土品の数々を、是非ご覧ください。

特集展示「穂高古墳群 F9号墳—考古学実習速報展—」
会期：平成28年2月26日(金)～5月7日(土)



Timeline Photos - February 28th, 2016 at 12:25 PM

53



[REPORT / 『大嘗会御神殿絵図』修補完了！]

本学が収蔵する『大嘗会御神殿絵図』の修補作業が完了し、当館収蔵庫に戻って来ました。
本体が142.5cm×240cmと非常に大きく、軸装部分も含めると最長部が280cmを超える資料です。これは、元文3(1738)年11月に行われた桜町天皇の「大嘗祭」の神殿が描かれたもので、神祇祭祀の中でも重要な祭祀の一つである「大嘗祭」に関する資料として、大変貴重なものです。
本資料は、いずれ皆さまにお見せできる予定です。どうぞ楽しみに！

昨年度末に掲載できなかった事業報告です

January – March

March

2016

- エントランスバナーのライトアップ
- 企画展ミュージアムトーク
- イギリス・セインズベリー日本藝術研究所との調印式
- 青山学院初等部の博物館見学
- 企画展「中世の古文書をよむ」開催
- 企画展ミュージアムトーク

…e.t.c

450 likes 

8 photos shared



March 2016

Timeline Photos - March 1st, 2016 at 5:17 PM

51

[INFORMATION / 博物館エントランス上部のパナーをライトアップ!]

当館エントランス上部に掲げている企画展のご案内のパナーをライトアップしました!

閉館時間が近づいて暗くなってくると多少わかりづかった博物館の入り口も、とてもわかりやすくなったと思います。やわらかめの暖色系で、ちょっとオシャレな色合いです。

エントランス上部のパナーは企画展ごとに変わっていくので、当館にお越しの際には、入る前に少し見上げてみてくださいね。



Timeline Photos - March 5th, 2016 at 5:03 PM

79



[REPORT / 企画展「花鳥風月一柄鏡の美」ミュージアムトーク]

本日14時より博物館のホールにて、企画展「花鳥風月一柄鏡の美」のミュージアムトークを開催しました。前回に引き続き、本企画展の展示を担当した本学教授の内川隆志先生による展示解説が行われました。

今回は、柄鏡の紋様として特に江戸時代前期の作品に希少な作例が多く認められる人物画題などに注目し、ホールの大型ディスプレイに資料画像を表示し、拡大機能を駆使しながら、柄鏡の紋様の細かい特徴や展示の注目ポイントなどについてじっくり解説しました。

企画展「花鳥風月一柄鏡の美」は3月13日(日)までの公開となります。お見逃しなく!

Timeline Photos - March 8th, 2016 at 5:04 PM

46

[INFORMATION / イギリス・セインズベリー日本藝術研究所との調印式]

本日11:30より、当館のホールにて、國學院大學研究開発推進機構とイギリス・セインズベリー日本藝術研究所(Sainsbury Institute for the Study of Japanese Arts and Cultures)による研究協定の調印式が行われました。本式典は、双方の相互協力により学術研究を発展させるため2009年7月6日に締結された覚書の更新に当たるものです。

同研究所より来校された水鳥真美統括役所長と、本学研究開発推進機構の井上順孝機構長により覚書が調印されました。双方は、日本文化研究に関する長年の研究蓄積があり、2009年の覚書の締結により、研究協力を行ってまいりました。今回の覚書の再締結により、これまでの研究成果を踏まえた日本文化研究・成果発信のための、より一層の協力体制が構築されることとなります。

セインズベリー日本藝術研究所ウェブサイト

◇過去のリンク◇

セインズベリー日本藝術研究所と協定、神殿前せせらぎテスト放流、カメムシ [2009年07月06日]

國學院大學研究開発推進機構と英国セインズベリー日本藝術研究所との間の覚書締結について [2009年7月8日]



Timeline Photos - March 14th, 2016 at 6:26 PM

71

[REPORT / 青山学院初等部の5年生が博物館を見学]

先週、青山学院初等部の5年生が、國學院大學博物館の考古学展示室を見学しました(3月9~11日、4クラス124名)。

6年生になると、学校で歴史の授業がはじまります。今回、博物館に展示されている資料を実際に目の当たりにすることで、学校で歴史を学習する上での導入に活用していただけたようでした。

4月から6年生になる皆さんは、当館学芸員の解説を、熱心にメモをとりながら聞いていました。

自由見学の時間には、石器や土偶、縄文・弥生土器、銅剣や銅鏡、埴輪などの資料をスケッチしたり、質問をしたりと、とても意欲的に学習に取り組んでいました。





[INFORMATION / 新しい企画展がスタート]

明日より新企画展「中世の古文書をよむ～國學院大學所蔵の重要文化財「久我家文書」を展示～」が始まります！
 なんと織田信長や豊臣秀吉など、誰もが一度は名前を聞いたことのある歴史上の人物の文書が公開されます。その数、30点近く。重要文化財を含むため限られた期間での公開となります。会期は4月17（日）までです！もちろん入館無料！
 ◎会期中、展示替え行います。ぜひ足をお運びください。



[REPORT / 企画展「中世の古文書をよむ」ミュージアムトーク]

先日、3月26日14時より、博物館のホールにて、本学文学部教授の千々和到先生による企画展「中世の古文書をよむ」のミュージアムトークを開催しました。
 「國學院大學所蔵の中世文書」と題したトークでは、1988（昭和63）年に重要文化財に指定された久我家（こがけ）文書が本学図書館所蔵となった経緯や、約20年ぶりに公開された久我家文書や他の文書のうち、内容的に興味ぶかいものについて、中世の歴史的事件を交えながら注目ポイント等を解説されました。
 また、千々和先生は、紙の古文書だけが中世の文献資料ではなく、青石に文字が刻まれた板碑も古文書であり、古文書であることを力説されましたが、約70名の参加者は、トーク終了後に板碑の前に殺到し、石の古文書をじっくりと鑑賞していました。
 なお、展示品は4月5日（火）より、一部、展示替えを行います。詳細につきましては、ホームページに掲載しております「展示目録」をご確認ください。
 また、次回ミュージアムトークは、以下の通りです。無料・予約不要です。
 日時：4月9日（土）14時～14時30分
 講師：堀越祐一（國學院大學客員研究員・文学部兼任講師）
 テーマ：信長・秀吉の古文書

平成28年度 実施事業一覧

事業名 は、ミュージアム連携事業実施項目

イベント * 國學院大學博物館が行ったワークショップ・講座・フォーラムなどの企画です

国際	企画	夕涼み マヌーシュ・ジャズライブ in 國學院大學博物館
日 時	平成28年7月7日（木）17：00～18：00	
会 場	國學院大學博物館ホール	
演 奏 者	山本大暉（國學院大學神道文化学部4年生）、Nicolas Carré	
主 催	國學院大學博物館	
共 催	日仏会館 フランス事務所	
人 数	64名	

国際	講演会	カタルーニャにおける日本美術コレクションと芸術家への影響
日 時	平成28年7月7日（木）18：00～19：30	
会 場	國學院大學会議室06	
講 演 者	リカル・ブル（バルセロナ自治大学教授）	
言 語	英語	
主 催	國學院大學博物館	
共 催	日仏会館 フランス国立日本研究センター	
人 数	38名	

国際	シンポジウム	国際シンポジウム 「江戸の庶民絵画 大津絵を読み解く 街道絵師からミロまで」
日 時	平成28年7月8日（金）18：00～20：30	
第 一 セッション	テーマ：江戸時代の大津絵 司会・コメント：クリストフ・マルケ（日仏会館・フランス国立日本研究センター） 講師：横谷賢一郎（大津市歴史博物館）、鈴木堅弘（京都精華大学）、白土慎太郎（日本民藝館）	
参加者数	152名	
日 時	平成28年7月9日（土）10：00～17：30	
第 二 セッション	テーマ：近世文学・美術と大津絵 司会・コメント：内田保廣（共立女子大学） 講師：矢島新（跡見学園女子大学）、ポール・ベリー（関西外国語大学）、佐藤悟（実践女子大学文芸資料研究所）	
第 三 セッション	テーマ：近代絵画と大津絵 司会・コメント：岡部昌幸（帝京大学） 講師：小林優（足立区立郷土博物館）、植田彩芳子（京都文化博物館）、嶋田華子（美術史研究者）	
第 四 セッション	テーマ：大津絵の国際的な評価と受容 司会・コメント：尾久彰三（元日本民藝館学芸部長） 講師：クリストフ・マルケ（日仏会館・フランス国立日本研究センター）、リカル・ブル（バルセロナ自治大学）	
参加者数	166名	
会 場	日仏会館 1階ホール	
主 催	日仏会館 フランス事務所	
共 催	國學院大學、実践女子大学文芸資料研究所	
協 力	大津市歴史博物館、日本民藝館	
後 援	日仏美術学会、明治美術学会、ジャポニスム学会	

地域

ワークショップ 夏休みワークショップ「紙すき」

日 時	平成28年7月23日(土) 13:00～16:00、7月24日(日) 13:00～16:00
会 場	白根記念渋谷区郷土博物館・文学館多目的室
講 師	松井圭太(白根記念渋谷区郷土博物館・文学館学芸員)
主 催	白根記念渋谷区郷土博物館・文学館
共 催	國學院大學博物館
対 象	渋谷区内在住、在勤、在学の小学生以上の人
参加人数	57名

体験

企画 UKIYO-E Demonstration!

日 時	平成28年8月3日(水) 10:00～12:00
会 場	國學院大學多目的ホール
講 師	公益財団法人アダチ伝統木版画技術保存財団
主 催	國學院大學博物館
共 催	公益財団法人アダチ伝統木版画技術保存財団
対 象	English speaker from other countries
参加人数	14名

体験

企画 体感! 浮世絵摺り実演・体験会

日 時	平成28年8月3日(水) 14:00～16:00
会 場	國學院大學多目的ホール
講 師	公益財団法人アダチ伝統木版画技術保存財団
主 催	國學院大學博物館
共 催	公益財団法人アダチ伝統木版画技術保存財団
協 力	太田記念美術館
対 象	小学生以上
参加人数	39名

体験

講座 夕涼み浮世絵講座

日 時	平成28年8月3日(水) 16:30～18:00
会 場	國學院大學常磐松ホール
講 師 テ ー マ	渡邊晃(太田記念美術館主幹学芸員) 「怖い浮世絵」 藤澤紫(國學院大學教授) 「涼しい浮世絵」
主 催	國學院大學博物館
共 催	公益財団法人アダチ伝統木版画技術保存財団
協 力	太田記念美術館
参加人数	189名

地域

ワークショップ 夏休みワークショップ「勾玉づくり」

日 時	平成28年8月6日(土) 9:30～12:00、13:00～16:00 8月7日(日) 13:00～16:00
会 場	白根記念渋谷区郷土博物館・文学館多目的室、國學院大學博物館
講 師	粕谷崇(白根記念渋谷区郷土博物館・文学館学芸員) 松井圭太(白根記念渋谷区郷土博物館・文学館学芸員) 内川隆志(國學院大學教授)
主 催	白根記念渋谷区郷土博物館・文学館
共 催	國學院大學博物館
対 象	渋谷区内在住、在勤、在学の小学生以上の人
参加人数	75名

地域

ワークショップ 夏休みワークショップ「夏休み子ども歴史講座」
きみも「渋谷博士」になろうー渋谷の縄文人と弥生人をさがすー

日 時	平成28年8月20日(土) 10:00～12:00
会 場	白根記念渋谷区郷土博物館・文学館多目的室、國學院大學博物館
講 師	粕谷崇(白根記念渋谷区郷土博物館・文学館学芸員) 内川隆志(國學院大學教授)、石井匠(國學院大學博物館学芸員)
主 催	白根記念渋谷区郷土博物館・文学館
共 催	國學院大學博物館
対 象	渋谷区内在学の小学4年生～6年生
参加人数	4名

体験

シンポジウム 渡来文化 ネットワーク・サミット in 東京
東アジアの国際交流ー古代から未来へー

日 時	平成28年9月3日(土) 10:00～16:00
会 場	國學院大學常磐松ホール
講 師 テ ー マ	山崎雅稔(國學院大學助教) 「『渡来人』と日韓関係の未来」 田中史生(関東学院大学経済学部教授) 「『渡来人』と『日本人』」
事例発表	代表事例紹介 奈良県明日香村長 森川裕一 各地域団体事例発表
主 催	一般社団法人 高麗1300、國學院大學博物館
特別協力	高麗神社
後 援	埼玉県、日高市、日高市教育委員会、駐日韓国大使館 韓国文化院
人 数	260名

国際

研究ワークショップ 2016年度 日仏会館・國學院大學・東洋文庫共催ワークショップ
「文人から学者へー歩く・集める・記す」第1回

日 時	平成28年10月4日(火) 18:30～20:30
会 場	日仏会館601号室
タイトル	旅する文人たち
講 師 テ ー マ	板坂耀子(福岡教育大学名誉教授) 「江戸の知識人は旅に何を求めたか」 出口智之(東海大学准教授) 「近代紀行の出発ー饗庭篁村を中心に」
主 催	日仏会館、國學院大學、東洋文庫
人 数	20名

地域

ワークショップ

しづや探検！Ⅰ—渋谷で日本の文化を知る—
渋谷の神社を見てみよう！～神主とめぐる神社ツアー～

日 時	平成28年10月29日(土) 10:00～15:00
会 場	國學院大學博物館、國學院大學神殿、渋谷氷川神社、鳩森八幡神社
講 師	網谷哲成(國學院大學博物館学芸員、日々神社神職)
主 催	國學院大學博物館、国立オリンピック記念青少年総合センター
協 力	渋谷氷川神社、鳩森八幡神社
対 象	渋谷区内在住、在勤、在学の親子2名ペア20組(小学5、6年生対象)
参加人数	7名

体験

ワークショップ

世界の宗教を知るワークショップ Part.2
第1回「明治神宮で知る神道—正式参拝の旅—」

日 時	平成28年11月6日(日) 12:30～16:00
会 場	國學院大學博物館、明治神宮
講 師	今泉宣子(明治神宮国際神道文化研究所主任研究員) 網谷哲成(國學院大學博物館学芸員)
主 催	國學院大學博物館
協 力	明治神宮
対 象	中学生以上
人 数	33名

国際

研究ワークショップ

2016年度 日仏会館・國學院大學・東洋文庫共催ワークショップ
「文人から学者へ—歩く・集める・記す」第2回

日 時	平成28年11月10日(木) 18:00～20:00
会 場	東洋文庫講演室2F
タイトル	文人ネットワークと民俗誌
講 師 テ ー マ	森山武(マードック大学教授) 「地方民俗の記述—「中心」と「周縁」のインターアクションとして：鈴木牧之の『北越雪譜』と『秋山記行』」 丹羽謙治(鹿児島大学教授) 「薩摩藩文化官僚の民俗調査とその叙述」
主 催	日仏会館、國學院大學、東洋文庫
人 数	20名

体験

ワークショップ

世界の宗教を知るワークショップ Part.2
第2回「渋谷で知るキリスト教—キリストの教えと芸術—」

日 時	平成28年11月13日(日) 9:30～13:00
会 場	國學院大學博物館、聖ドミニコカトリック渋谷教会
講 師	田中信明(聖ドミニコカトリック渋谷教会主任司祭) 内島美奈子(西南学院大学博物館学芸員) 山尾彩香(西南学院大学博物館学芸研究員)
主 催	國學院大學博物館
共 催	西南学院大学博物館
対 象	中学生以上
人 数	25名

体験

ワークショップ

世界の宗教を知るワークショップ Part.2
第3回「ヨガで知るインド—インドの信仰と哲学の世界—」

日 時	平成28年11月19日(土) 14:00～16:30
会 場	國學院大學博物館
講 師	アルン・クマール・ヴァガイ(ヨガ指導者) 陣内理良(國學院大學博物館学芸員)
主 催	國學院大學博物館
協 力	Sasaki Yoga Ashram
対 象	中学生以上
人 数	24名

体験

ミュージアムトーク

世界の宗教を知るワークショップ Part.2 Special Program「イスラムと文化遺産—パキスタンにおける仏教遺跡の受容と保護—」

日 時	平成28年11月23日(水・祝) 13:00～14:00
会 場	國學院大學博物館ホール
講 師	ムハンマド・ザヒル(パキスタン・ハザーラ大学准教授)
解 説	野口淳(NPO法人南アジア文化遺産センター理事・事務局長)
主 催	國學院大學博物館
共 催	NPO法人南アジア文化遺産センター
人 数	45名

体験

特別講演

世界の宗教を知るワークショップ Part.2 Special Program
「世界の宗教が禁じてきたもの—その信仰と戒律のなぜ—」

日 時	平成28年12月17日(土) 13:00～14:00
会 場	國學院大學博物館ホール
講 師	井上順孝(國學院大學教授)
主 催	國學院大學博物館
人 数	73名

地域

ワークショップ

しづや探検！Ⅱ—渋谷で日本の文化を知る—
芸術は爆発だ！～渋谷で出会う岡本太郎と縄文～

日 時	平成29年1月21日(土) 10:00～15:00
会 場	國學院大學博物館、岡本太郎記念館、渋谷駅連絡通路内(巨大壁画〈明日の神話〉)他
講 師	石井匠(國學院大學博物館学芸員、岡本太郎記念館客員研究員)
主 催	國學院大學博物館、国立オリンピック記念青少年総合センター
協 力	岡本太郎記念館
対 象	渋谷に関心のある小学3年生から大人まで(小学生は保護者同伴)
参加人数	25名

国際

研究ワークショップ

2016年度 日仏会館・國學院大學・東洋文庫共催ワークショップ
「文人から学者へ—歩く・集める・記す」第3回

日 時	平成29年1月26日(木) 18:00～20:00
会 場	國學院大學会議室06
タイトル	近代民俗学者による受容
講 師 テ ー マ	福田アジオ(国立歴史民俗博物館名誉教授) 「継承する民俗学者・否定する民俗学者」 石井正己(東京学芸大学教授) 「遊歴文人と民俗学—菅江真澄と柳田国男」
主 催	日仏会館、國學院大學、東洋文庫
人 数	25名

シンポジウム		斎宮歴史博物館・國學院大學博物館共同シンポジウム 【伊勢神宮と斎宮】 in 東京・渋谷
日 時	平成29年2月11日(土・祝) 13:30~17:00	
会 場	國學院大學常磐松ホール	
基調講演講師 テ ー マ	穂積裕昌(斎宮歴史博物館調査研究課主幹) 【伊勢神宮成立論と考古学】	
講演講師 テ ー マ	岡田莊司(國學院大學教授) 【斎王とは何か? - 古代天皇祭祀の一視点 -】 大川勝宏(斎宮歴史博物館調査研究課長) 【斎宮跡の発掘と解明】	
ディス カッション	大川勝宏(斎宮歴史博物館調査研究課長) 穂積裕昌(斎宮歴史博物館調査研究課主幹) 岡田莊司(國學院大學教授) コーディネーター: 笹生 衛(國學院大學博物館長・國學院大學教授)	
主 催	斎宮歴史博物館、國學院大學博物館	
人 数	273名	

特別展	企画展	*國學院大學博物館企画展示室での展示です
特別展 火焰型土器のデザインと機能 Jomoneseque Japan 2016		
会 期	平成28年12月10日(土)~平成29年2月5日(日)	
主 催	國學院大學博物館 信濃川火焰街道連携協議会(新潟市・三条市・長岡市・十日町市・津南町) 新潟県立歴史博物館	
後 援	毎日新聞社 NPO 法人 ジョーモネスクジャパン	
会期中入館者数	13189名	
ミュージアム トーク	日時:平成28年12月17日(土) 15:00~16:00 講師:石原正敏(十日町市博物館) 人数:61名	
	日時:平成29年1月21日(土) 13:30~15:30 講師:佐藤信之(津南町教育委員会)、斎藤孝太郎(エレキチェロ奏者) 人数:227名	
	日時:平成29年1月28日(土) 13:30~14:30 講師:小熊博史(長岡市立科学博物館) 人数:212名	
	日時:平成29年2月4日(土) 13:30~14:30 講師:宮尾 亨(新潟県立歴史博物館) 人数:227名	
縄文コンサート	日時:平成28年12月10日(土) 16:30~17:00 演奏:斎藤孝太郎(エレキチェロ奏者) 人数:101名	
	日時:平成29年1月21日(土) 13:30~15:30 演奏:斎藤孝太郎(エレキチェロ奏者) 人数:273名	
フォーラム	タイトル:国際縄文フォーラム火焰街道往来2016 【中期縄文土器の過剰なデザインと多様な第二の道具】 会場:國學院大學常磐松ホール	
	日時:平成28年12月10日(土) 13:30~16:10 【基調講演】 講師:谷口康浩(國學院大學教授) 河 仁秀(韓国 釜山近代歴史館館長) 人数:159名	
日時:平成28年12月11日(土) 10:00~16:10 【報告討論】 阿部昭典(千葉大学) 菅野智則(東北大学) 領家玲美(相模原市教育委員会) 水ノ江和同(文化庁) イローナ・バウシュ(東京大学) 石井匠(國學院大學博物館学芸員) 今福利恵(山梨県埋蔵文化財センター) 【講話】 小林達雄(國學院大學名誉教授) 人数:150名		

企画展		偶像（アイドル）の系譜 神々と藝能の一万年
会期	平成28年4月26日（火）～6月12日（日）	
主催	國學院大學博物館	
後援	毎日新聞社	
会期中入館者数	10,232名	
ミュージアムトーク	「歴史に見る“アイドル”の原点」 日時：平成28年5月7日（土）14：00～15：00 講師：深澤太郎（國學院大學准教授）×石井匠（國學院大學博物館学芸員） 人数：117名	
	「江戸・東京のカワイイ文化」 日時：平成28年5月14日（土）14：00～15：00 講師：藤澤紫（國學院大學教授） 人数：108名	
追加・ミュージアムトーク	日時：平成28年5月21日（土）15：30～15：50 講師：深澤太郎（國學院大學准教授）、村上紀夫（奈良大学准教授） 人数：79名	
	日時：平成28年5月28日（土）15：30～15：50 講師：深澤太郎（國學院大學准教授）、石守晃（群馬県埋蔵文化財調査事業団上席専門員） 人数：70名	

企画展		古文書で〈つなぐ〉江戸時代
会期	平成28年6月17日（金）～7月16日（土）	
主催	國學院大學博物館	
会期中入館者数	5,646名	
ミュージアムトーク	「戦乱から平和へ」 日時：平成28年6月18日（土）14：00～14：30 講師：根岸茂夫（國學院大學教授） 人数：60名	
	「江戸時代を支える民衆」 日時：平成28年7月2日（土）14：00～14：30 講師：根岸茂夫（國學院大學教授） 人数：110名	

企画展		國學院大學学びへの誘い「江戸文学の世界—江戸戯作と庶民文化—」
会期	平成28年7月19日（火）～8月28日（日）	
主催	國學院大學	
後援	渋谷区、毎日新聞社、國學院大學若木育成会、一般財団法人國學院大學院友会	
会期中入館者数	7,448名	
ブローカー内覧会	日時：平成28年7月20日（水）18：30～19：30 講師：中村正明（國學院大學准教授） 人数：8名	
ミュージアムトーク	日時：平成28年7月30日（土）14：00～14：30 講師：中村正明（國學院大學准教授） 人数：36名	
	日時：平成28年8月27日（土）14：00～14：30 講師：中村正明（國學院大學准教授） 人数：59名	

企画展		武蔵国高麗郡建郡1300年 日本に根付いた渡来人 高麗郡と高麗神社
会期	平成28年9月3日（土）～10月10日（月・祝）	
主催	國學院大學博物館、高麗神社	
後援	毎日新聞社	
会期中入館者数	7,335名	
ミュージアムトーク	日時：平成28年9月24日（土）14：00～14：30 講師：高麗文康（高麗神社宮司）、深澤太郎（國學院大學准教授） 人数：153名	

企画展		祭礼行列 渡る神と人
会期	平成28年10月15日（土）～12月4日（日）	
主催	國學院大學博物館	
後援	毎日新聞社	
ミュージアムトーク	「賀茂祭（葵祭）」 日時：平成28年10月22日（土）14：00～14：30 講師：鈴木聡子（國學院大學助教） 人数：118名	
	「祇園御霊会から札幌まつりへ」 日時：平成28年10月29日（土）14：00～14：30 講師：大東敬明（國學院大學准教授） 人数：21名	
	「神輿と行列」 日時：平成28年11月12日（土）14：00～14：30 講師：笹生衛（國學院大學博物館長・國學院大學教授） 人数：61名	
ホームカミングデーミュージアムトーク	日時：平成28年10月15日（土） 【1回目】 13：00～13：30 人数：75名 【2回目】 14：30～15：00 人数：72名 講師：大東敬明（國學院大學准教授）	
上映会	民俗誌映像「祭りに生きる 京都の鉾差し」 日時：平成28年11月5日（土）14：00～ 平成28年11月20日（日）①12：20～、②15：20～ 会場：國學院大學博物館ホール 11月5日人数：16名 11月20日1回目人数：10名、2回目人数：25名	

企画展		祭祀と神話 神道入門
会期	平成29年2月11日（土）～4月9日（日）	
主催	國學院大學博物館	
博物館神道講座（ミュージアムトーク）	第1講「神道古典としての記・紀神話」 日時：平成29年2月25日（土）14：00～14：30 講師：渡邊卓（國學院大學助教）	
	第2講「古代の国家祭祀と祈年祭」 日時：平成29年3月4日（土）14：00～14：30 講師：岡田莊司（國學院大學教授）	
	第3講「中世日本の神話と儀礼」 日時：平成29年3月18日（土）14：00～14：30 講師：大東敬明（國學院大學准教授）	
	第4講「記・紀研究と國學院」 日時：平成29年4月1日（土）14：00～14：30 講師：渡邊卓（國學院大學助教）	

※開催予定も含まれます。

特集展示 * 國學院大學博物館内で行った小規模な展示です

特集展示	教派神道連合会共催 特集展示「登拝と行」
会 期	平成28年6月1日(水)～6月30日(木)
会 場	國學院大學博物館神道展示室
主 催	國學院大學博物館
共 催	教派神道連合会



特集展示	大津絵の展示
会 期	平成28年7月4日(月)～7月10日(日)
会 場	國學院大學博物館神道展示室
主 催	國學院大學博物館、日仏会館・フランス国立日本研究センター
ミュージアム トーク	「江戸の庶民絵画 大津絵」 日時：平成28年7月7日(木) 16:00～16:30 講師：クリストフ・マルケ(国立東洋言語文化大学教授) 人数：62名

特集展示	生誕130年記念 特集展示 折口信夫と『死者の書』
会 期	平成28年9月3日(土)～10月10日(月・祝)
会 場	國學院大學博物館校史展示室・ホール
主 催	國學院大學 生誕130年記念「折口信夫と『死者の書』」実行委員会 (國學院大學折口博士記念古代研究所、國學院大學博物館、國學院大學校史・学術資産研究センター)
共 催	KADOKAWAコミックビーム編集部
後 援	毎日新聞社
ミュージアム トーク I	「『死者の書』を漫画化するということ」 日時：平成28年9月10日(土) 14:00～14:30 講師：近藤ようこ(漫画家) 人数：90名
ミュージアム トーク II	「折口信夫と『死者の書』—学問と創作—」 日時：平成28年9月17日(土) 13:00～13:30 講師：小川直之(國學院大學教授) 人数：145名
ミュージアム トーク III	「國學院の学び、『死者の書』」 日時：平成28年9月24日(土) 12:30～13:30 講師：近藤ようこ(漫画家)×小川直之(國學院大學教授) 人数：119名
映画上映会	長編アニメーション映画『死者の書』 日時：平成28年9月17日(土) 14:00～15:10 会場：國學院大學常磐松ホール 人数：310名
辰巳正明講演会	「死者の書—天上楽土への道案内—」 日時：平成28年9月17日(土) 15:30～17:00 講師：辰巳正明(國學院大學名誉教授) 会場：國學院大學常磐松ホール 人数：240名
持田叙子講演会	「鳥になり、花になり、愛を告げたい—死者の書—」 日時：平成28年10月8日(土) 14:00～15:30 講師：持田叙子(日本近代文学研究者、國學院大學兼任講師) 会場：國學院大學5201教室 人数：96名

特集展示	八幡さま
会 期	平成28年9月17日(土)～10月10日(月・祝)
会 場	國學院大學博物館神道展示室
主 催	國學院大學博物館



特集展示	インドの祈りと神々
会 期	平成28年10月29日(火)～12月6日(火)
会 場	國學院大學博物館ホール
主 催	國學院大學博物館

相互貸借特集展示 * 國學院大學博物館と西南学院大学博物館の協定に基づく展示です

相互貸借特集展示	ICON—キリスト教の聖像画—
会 期	平成28年4月24日(日)～7月23日(土)
会 場	國學院大學博物館
主 催	國學院大學博物館、西南学院大学博物館

相互貸借特集展示	山岳霊場の考古学
会 期	平成28年5月26日(木)～9月27日(火)
会 場	西南学院大学博物館
主 催	國學院大學博物館、西南学院大学博物館

相互貸借特集展示	描かれた「DEJIMA—出島—」
会 期	平成28年7月25日(月)～11月11日(金)
会 場	國學院大學博物館
主 催	國學院大學博物館、西南学院大学博物館



相互貸借特集展示	キリスト教信仰のかたち—祈りの道具に見る多様性—
会 期	平成28年11月13日(日)～平成29年3月1日(水)
会 場	國學院大學博物館
主 催	國學院大學博物館、西南学院大学博物館

相互貸借特集展示	漢代の世界観—鏡と明器に見る古代中国文化—
会 期	平成28年9月27日(火)～平成29年1月27日(金)
会 場	西南学院大学博物館
主 催	國學院大學博物館、西南学院大学博物館

相互貸借特集展示	「神道」の原型—古墳時代における祭祀遺跡—
会 期	平成29年1月27日(金)～5月24日(水)
会 場	西南学院大学博物館
主 催	國學院大學博物館、西南学院大学博物館

國學院大學博物館地域共働連携事業実行委員会委員長

赤井 益久 國學院大學学長

構成員

井上 順孝 國學院大學研究開発推進機構長 國學院大學神道文化学部教授

笹生 衛 國學院大學博物館館長 國學院大學神道文化学部教授

内川 隆志 國學院大學博物館副館長 國學院大學研究開発推進機構教授

平藤 喜久子 國學院大學研究開発推進機構准教授

大東 敬明 國學院大學研究開発推進機構准教授

深澤 太郎 國學院大學研究開発推進機構准教授

渡邊 卓 國學院大學研究開発推進機構助教

鈴木 聡子 國學院大學研究開発推進機構助教

高野 裕基 國學院大學研究開発推進機構助教

及川 聡 國學院大學博物館副館長 國學院大學学術メディアセンター事務部長

志水 志保 國學院大學研究開発推進機構事務課

石井 匠 國學院大學博物館学芸員

網谷 哲成 國學院大學博物館学芸員

陣内 (佐々木) 理良 國學院大學博物館学芸員

編集協力

公益財団法人 山種美術財団

公益財団法人 東洋文庫

渋谷区

日仏会館 フランス国立日本研究センター

国立オリンピック記念青少年総合センター

平成28年度文化庁文化芸術振興費補助金
(地域の核となる美術館・歴史博物館支援事業)

発行年月 平成29(2017)年2月

編集・発行 國學院大學博物館地域協働連携事業実行委員会/國學院大學

連絡先 〒150-8440 東京都渋谷区東4-10-28

國學院大學博物館

TEL : 03-5466-0359、FAX : 03-5466-6697

<http://museum.kokugakuin.ac.jp/>

印刷 株式会社 白峰社